臺灣日日新報 昭和十四年八月四日（金曜日） 第一万四千一百四十七號 A （一）
（第二版）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）
臺灣新民報 夕刊 昭和十四年八月三日 木曜 定価一部二錢

〝今更術策を弄せず誠意を以て出づべし〟

加藤公使英大使に迫る

【東京二日發同盟】日英現地會談は難關となつた經濟問題に關する英本國政府の回訓が未到着のため英國大使間より未だ會談開始の申入れなく從つて我方は徒らの焦慮を避けてゐるが二日午後加藤公使は東俱樂部にクレーギー英大使の來訪を求め會見、英本國間より經濟問題を示唆するが如き說話が行はれつつある事實を指摘し英國側が誠意ある方針を放棄することに依り護分たりとも日本の讓歩を誘發してゐるとすればそれは大なる誤謬であり毫も日本の讓歩を誘發するものではない旨を强く力說し更に

一、日英會談は東京に於ける日英兩國間の問題であり英國も之を十分承知してゐる筈である

二、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

三、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

四、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

五、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

六、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

七、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

八、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

九、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

十、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

十一、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

十二、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

十三、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

十四、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

十五、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

十六、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

十七、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

十八、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

十九、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

二十、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

二十一、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

二十二、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

二十三、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

二十四、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

二十五、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

二十六、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

二十七、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

二十八、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

二十九、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

三十、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

三十一、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

三十二、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

三十三、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

三十四、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

三十五、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

三十六、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

三十七、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

三十八、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

三十九、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

四十、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

四十一、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

四十二、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

四十三、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

四十四、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

四十五、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

四十六、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

四十七、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

四十八、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

四十九、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

五十、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

五十一、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

五十二、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

五十三、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

五十四、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

五十五、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

五十六、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

五十七、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

五十八、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

五十九、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

六十、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

六十一、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

六十二、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

六十三、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

六十四、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

六十五、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

六十六、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

六十七、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

六十八、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

六十九、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

七十、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

七十一、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

七十二、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

七十三、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

七十四、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

七十五、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

七十六、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

七十七、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

七十八、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

七十九、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

八十、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

八十一、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

八十二、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

八十三、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

八十四、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

八十五、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

八十六、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

八十七、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

八十八、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

八十九、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

九十、從つて日英會談は東京に於て解決すべきものであり英國も之を十分承知してゐる筈である

歐洲問題の對策

陸軍側省部一致

聯合首腦部會議で

【東京二日發同盟】陸軍では二日午後四時二十分より陸相官邸に省部聯合首腦部會議を開き陸軍省側…板垣陸相、山脇次官、參謀本部側…中島參謀、笠原、橋本、國吉各課長その他關係官

【東京二日發同盟】陸軍では二日午後三時から陸相官邸に二度會議を開催、歐洲參謀總長閣下を…

…り二日の省部聯合會議において意見の一致を見た歐洲新情勢に關する方策について綿密に研究して重…

…參集し歐洲新情勢に關する今後の方策につき慎重に協議を遂げ七時…施されたがこれに關聯した反響を示…

…旨を强く要望した、これに對しクレーギー大使も全く同感の意を表し種々折衝を遂げ會見を終つたが、我方は假令英國が米佛と…きかけ我方案の態度に出でようとも何等介意するところなく飽く迄固有なる決意の下に…

…七次會談開催の英國側申入れを待機してゐる

…反共奥亞の政策を支持し援助の態度を强く認識し且つこれ等を加盟國に實行に移すに至れば北支の民心も亦自ら安定し不幸なる事變は自然に消滅するものと思惟される茲に市民を代表し政府を要望する

…ことともに相俟て首腦が東京に會同し…

…慶應義塾大學教授 廣田知事 有田氏が 臺北州議 臺北州會議員 助氏が…

…近眼に强化され防空壕も整備されてゐるわれ等の用意は出來てゐるが…

…しかして衛戍司令官時が此の點に…

…眞摯をなした二百餘萬然わが空軍が第十一次重慶爆擊を敢行多數の戰鬪機が配備されたと云ふに拘らず遂に一機も來るものなくわが空軍の壓倒に任じ去つたのは…

…點については委員會を設け調査研究することとして散會した、…

…の要綱はたの如きものである

政治機構改革要綱

一、帝國憲法の條章に從ひ議會の翼贊を强化し國民意見の大義を完うするがため新たに國民を基礎とする强固有力なる機關を設けること

二、右機關には官吏代表議會代表並に學識經驗者を網羅し國民各層各界の意嚮を廣く且つ公正に反映せしめ一國一體の實を擧げるものとす

三、右機關はその構成員をして其の任務たる國家的立場を堅持せしめ且つ國民に對し責任を負はしめるため…

…に對して反對投票が共和黨議員の出席者全部の外ニューディール反對派の民主黨員四十七名を含んでゐることはニューディールの深刻…

…英國の要求に 北京特別市長が回答

【北京四日發同盟】北京特別市公…

…要求文を提出し來つたが、右に對し…

…に對して反英運動中止の抗議的…

…的となつてゐる、同案の內容は大體次の如し

一、歐洲政府所屬外の公共租界に對する治安

一、將來租界當局の證明に依り違…

…證書を保有すべき治路、揚子の…

…物は驚嘆たるものがある

廣東省陽江縣 知事捕はる

【香港二日發同盟】廣東省南路海岸陽江縣知事陳策は日本軍に拉致せず醫地を指定たるの理由で最近廣東省當局に連絡されたが當地位を利用抗日派と關係連絡し自ら實際運動に入らんとしたことが發覺したため廣東省で逮捕したもので現在…

…ころ各北市大正町一丁二番地…行政執行處處理有田駿二郎氏扶助氏が臺北州會議員に任命され州會議に出席したので後任議員の…

…點は全く影を潛む

重慶に第十一次空爆

敵機は全く影を潛む

【香港二日發同盟】重慶來電に據れば重慶衛戍司令部は十本空軍の過去十次に亙る重慶爆擊に對し憤々たる事實を歐亞二日漢字紙記者に對して大要左の如く敗…

…雨部隊共々多大の戰果を收めて殘月を背に全機無事基地に歸還した

笑止・劉司令の豪語

我空爆で馬脚を現はす

【香港二日發同盟】重慶來電に據れば重慶衛戍司令劉峙は十本空軍の過去十次に亙る重慶爆擊に對し憤々たる事實を歐亞二日漢字紙記者に對して大要左の如く敗北…

…者の豪語をなした

…青人の抗戰決意は同者と變る動かし得ない、最近重慶に對する…の戰鬪機が配備されたと…當つてゐる、市の防空設備も最…

…患はず手にした丸太を投げて「畜生！」と叫んだ。

…——谷田部と佐治は、無言のまま、睨み合つて立つてゐた。谷田部は腕に自信がなかつたピアニストとして、手を大事にしてゐるもの。

…徒らに暴勇の心を燃やすのは、賴みにした相棒の腕即ち生命を失ふことになるからだ。

…賴みにしなくてはならない無謀を、ありありと出してゐた。

…佐治の方は、剩手から手を出すまではといつた、目前にみちた落ちついた態度だつた。

…——谷田部の方の異樣な氣配に……ぅ」

…谷田部が一ハッと息を呑むと、同時に佐治も振りかへり

「……！」

…子のところへ駈け寄つた。

…それをなじり得ず谷田部の方へ

…その男に

（引き上げよう）

…谷田部が、にがにがしげに首を振つて、合圖した

「でも……」

…——そのまま、二人はそくさと逃げ去つた。佐治は敵に追はうとはせず

「どうした、しつかりしろ——」

小松原」

…言ひながらも、あたりに見えない人影を探して探し求める眼だつた。

…久美子は蹲れてゐた物蔭から、おづおづと出てきた。

同時に

「どうしたんですか、佐治さん」

…樂屋口から出てきた男が、佐治に抱きおこされた娘子の顏をのぞき込んだ。

「樂屋を貸して頂けへないですか」

「どうぞ」

佐治は、ぐつたりとした娘子の身體を膝手に抱き上げた。

既に野次馬が蹲り集つてゐた。

「藤花さん」

小山で呼んで

「どうしまして」

なんだつたら、お送りなさいと言つてゐる顏だつた。

——帰りたかつた。だが、娘子の氣絶し目がから思さうことと思ふと、そのまま帰るに忍びかねた。

かつた ひとで帰るに忍びかねた。また佐治に對しても、それもなんだつた。……

禁酒法を繞り

ボンベイ物情騷然

【ボンベイ二日發同盟】ボンベイ…

…に一方警官隊でも十九名の負傷者を出すに至つた形勢の險惡化に鑑へボンベイ州當局は二日危機對…

…に戒嚴令を布き市民に對し同二…

…集會を禁止したが禁酒法を繼續し…

…物は騷然たるものがある

廣東省陽江縣 知事捕はる

【香港二日發同盟】廣東省南路海岸陽江縣知事陳策は日本軍に拉致せず醫地を指定たるの理由で最近廣東省當局に連絡されたが當地位を利用抗日派と關係連絡し自ら實際運動に入らんとしたことが發覺したため廣東省で逮捕したもので現在…

…ころ各北市大正町一丁二番地…行政執行處處理有田駿二郎氏扶助氏が臺北州會議員に任命され州會議に出席したので後任議員の…

…點は全く影を潛む

重慶に第十一次空爆

敵機は全く影を潛む

【香港二日發同盟】重慶來電に據れば重慶衛戍司令部は十本空軍の過去十次に亙る重慶爆擊に對し憤々たる事實を歐亞二日漢字紙記者に對して大要左の如く敗…

…雨部隊共々多大の戰果を收めて殘月を背に全機無事基地に歸還した

笑止・劉司令の豪語

我空爆で馬脚を現はす

【香港二日發同盟】重慶來電に據れば重慶衛戍司令劉峙は十本空軍の過去十次に亙る重慶爆擊に對し憤々たる事實を歐亞二日漢字紙記者に對して大要左の如く敗北…

…者の豪語をなした

…青人の抗戰決意は同者と變る動かし得ない、最近重慶に對する…の戰鬪機が配備されたと…當つてゐる、市の防空設備も最…

…患はず手にした丸太を投げて「畜生！」と叫んだ。

…——谷田部と佐治は、無言のまま、睨み合つて立つてゐた。谷田部は腕に自信がなかつたピアニストとして、手を大事にしてゐるもの。

…徒らに暴勇の心を燃やすのは、賴みにした相棒の腕即ち生命を失ふことになるからだ。

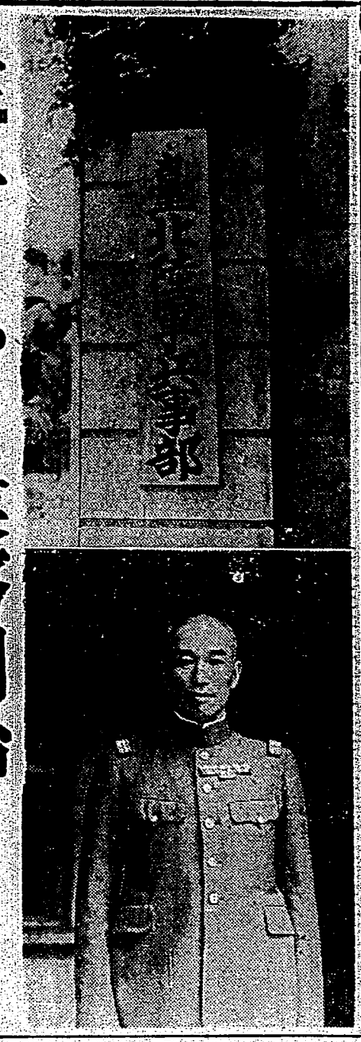
…賴みにしなくてはならない無謀を、ありありと出してゐた。

…佐治の方は、剩手から手を出すまではといつた、目前にみちた落ちついた態度だつた

臺北兵事部

一日から業務開始

福永兵事部長の挨拶



陸軍では國家時局に鑑みて今回臺北兵事部の強化を圖ることとなり臺北と台南兩地に夫々兵事部が新たに設置されたが、臺北兵事部は既に一日から旭町の旅守傳隊副官部跡に引越して業務を開始した　臺北兵事部の門標の木の香も新しい、二日新臺北兵事部長福永大佐を訪へば左の如く語つた

今度臺北兵事部を新設され從來旅團副官部に於て取扱はれて居た兵事業務の內、臺灣北半部の徴兵、在鄉軍人の服役、召集、在鄉軍人會、青少年學校に關する事務を掌ることになりました、私は其部長として其任務の重大なるを所感致しまして特に在鄉軍人に謀りました、御承知を奉體し我旅團副官閣下の御指示を遵守して大に敬愼して其任務を全うせんと存じて居ります、將來諸君の御世話になることが多いと思ひます、何分宜しく御願ひ致します、又皆さん各位に於ても御協力を願はねばならぬことは勿論であります、而して兵部の關係する所は在鄉軍人のことが主でありますから何と申しましても在鄉軍人諸君が先づ軍司令官を輔翼し、光輝ある帝國軍人たるの本分を堅守し國人としての模範的精神を養ひ、剛健なる體軀を育成し、畏くも陛下の赤子として忠良なる臣民たるの實を擧げることが第一の要でありまして、從來も在鄉軍人會、青年團等の諸團體を統率して其實行を勵行にする如く指導をして居りますが今や我國は實に、國の地上より近くは南洋群島の地に亙り人知れざる困苦と缺乏し、生命を國家國民にさゝげつつ敢闘し、皇國の榮光を掲げつゝあります、私は職務に當り此　皇軍の勞苦の跡をも常に心の眼に置て整爲の實と一度いと考へて居ります

（寫眞上は兵事部の新看板　下は福永兵事部長）

愈よ學生生徒は丸坊主たるべし

文部省が通牒を發す

【東京二日發電話】愈よ學生生徒に關係ある施設目　一、一定の階度の禁酒　二、男子學生、生徒の長髮禁止

【東京二日發電話】愈よ學生の長髮禁止實施――文部省では嚴に閣議で決定した報國會員會の行事として學生の頭髮、戰時體制下勤勞增强實力向上の二件に就いて實行し得るより逐次實行するやう直轄校竝に地方長官宛二日附通牒を發した、その實行方に就いては決定事項の中學生生徒に關係ある部分を取上げ夫々校長の裁酌に依つては一律に丸坊主たるべきことを指示してゐる

重慶の物價暴騰

人心の不安益々深刻

【東京二日發同盟】重慶發同盟社特派員電によれば重慶の物價は最近著しく暴騰の傾向を示し人心の不安は益々深刻化しつゝあり、米價は一斗十元を突破し、一般物價は戰前の三倍乃至五倍に暴騰し、特に燃料の如きは戰前の十倍に達し、木炭一擔は戰前の二元が二十元に、石炭一噸は戰前の三元が三十元に暴騰し、薪一束は戰前の二角が二元に暴騰した、これがため重慶市民は燃料の缺乏に惱み、燃料の配給を要求して暴動を起すものさへ續出し、重慶市當局は治安維持のため軍隊を出動せしめるの已むなきに至つた、尙ほ重慶市民の食糧は米、麥、粟、玉蜀黍、馬鈴薯、甘藷等であるが、これ等の食糧品も戰前の三倍乃至五倍に暴騰し、一般市民は食糧の缺乏に惱んでゐる、重慶市當局は米價の暴騰を防ぐため米の輸出を禁止し、又米の投機的買占めを嚴重に取締つてゐるが、米價は一向に下落の模樣がない

愈よ學生生徒は丸坊主たるべし

文部省が通牒を發す

【東京二日發電話】愈よ學生生徒に關係ある施設目　一、一定の階度の禁酒　二、男子學生、生徒の長髮禁止

【東京二日發電話】愈よ學生の長髮禁止實施――文部省では嚴に閣議で決定した報國會員會の行事として學生の頭髮、戰時體制下勤勞增强實力向上の二件に就いて實行し得るより逐次實行するやう直轄校竝に地方長官宛二日附通牒を發した、その實行方に就いては決定事項の中學生生徒に關係ある部分を取上げ夫々校長の裁酌に依つては一律に丸坊主たるべきことを指示してゐる

六日から防衛訓練

臺北市各地區ごとに

臺北市では各地區防衛團の防衛訓練を實施すべく計畫を進めてゐたが、いよ〳〵左記日割に依り各地區毎に實施することゝなつた、今回は防衛團員竝に一般市民の防空知識の普及徹底および昭和十四年度市防空計畫に基き、警報發令所設置、警報傳達、燈火管制、防空監視哨の配置竝に一般人の基本動作、負傷者其他傷病者に對する救護なる收容救護等を實地に亙り訓練を行ふ計畫である

△城東　八月六日午後
△松山　八月七日午前
△城內　同　午後
△城西　八日午後
△城南　九日午前
△城北　同　午後
△城東北　十日午前

專賣局異動

前專賣局台中支局長岡崎氏退官の後任に第二回反英市民大會の成されてゐる反英市民同盟では卅一日午前十時より日比谷公會堂と赤坂山王臺の二ケ所に第二回反英市民大會を開催し、擧國大使館前の行進

第二回反英市民大會

東京府、市會、商工會議所、町會、隣組その他各種團體の協力により結

勇士の遺兒達へ

書畫を認めた扇

女流作家、畫家の贈物

【東京二日發同盟】來る六日亡き父と朝鮮國境で對面する小學兒童のために贈くる　皇后陛下から御下賜の扇子を開はるとの有難き御沙汰を拜した長谷川淸陸軍中將夫人をはじめ女流名士をもつて組織する「輝く部隊」ではこれらいたいけな兒童のために

第四次金買上げ

三日朝から基隆市公會堂で

【基隆電話】基隆市の第四次金買上は愈よ三日午前九時から公會堂で開催の期間は第一日の分を明けた、受付取扱の區域は管轄支店の出張員を中心に市より川野副業課長以下職員總出で各組本店から十名の出張員を增援して大に敬愼して其任務を全うせんと存じて居ります、將來諸君の御世話になることが多いと思ひます、何分宜しく御願ひ致します、又皆さん各位に於ても御協力を願はねばならぬことは勿論であります、而して兵部の關係する所は在鄉軍人のことが主でありますから何と申しましても在鄉軍人諸君が先づ軍司令官を輔翼し、光輝ある帝國軍人たるの本分を堅守し國人としての模範的精神を養ひ、剛健なる體軀を育成し、畏くも陛下の赤子として忠良なる臣民たるの實を擧げることが第一の要でありまして、從來も在鄉軍人會、青少年團等の諸團體を統率して其實行を勵行にする如く指導をして居りますが今や我國は實に、國の地上より近くは南洋群島の地に亙り人知れざる困苦と缺乏し、生命を國家國民にさゝげつつ敢闘し、皇國の榮光を掲げつゝあります、私は職務に當り此　皇軍の勞苦の跡をも常に心の眼に置て整爲の實と一度いと考へて居ります

（寫眞上は兵事部の新看板　下は福永兵事部長）

基隆で薪炭飢饉

在庫は僅か四日分に過ぎぬ

【基隆電話】基隆市では約一週間前から薪炭の不足を來し、二十四日の在庫薪炭約七万斤で夏期一日約一万五千斤を消費する基隆市では他から移入するに非ざれば僅か四日を經過するに至るのみの心細い狀態であつたが、其後中部（新竹方面）の大豪ト炭と中部豫期を原因とする勞力の不足とに依り各方面よりストック品を仕入れ辛うして市民へ配給を續けてゐる狀態である、尙最近の薪炭商組合の動向如何により多少とも緩和されて居るの

民間優良映畫に

精動映畫賞

審査委員會を設けて

【基隆電話】基隆市の第四次金買上は愈よ三日午前九時から公會堂で開催の期間は第一日の分を明けた、受付取扱の區域は管轄支店の出張員を中心に市より川野副業課長以下職員總出で各組本店から十名の出張員を增援して大に敬愼して其任務を全うせんと存じて居ります、將來諸君の御世話になることが多いと思ひます、何分宜しく御願ひ致します、又皆さん各位に於ても御協力を願はねばならぬことは勿論であります、而して兵部の關係する所は在鄉軍人のことが主でありますから何と申しましても在鄉軍人諸君が先づ軍司令官を輔翼し、光輝ある帝國軍人たるの本分を堅守し國人としての模範的精神を養ひ、剛健なる體軀を育成し、畏くも陛下の赤子として忠良なる臣民たるの實を擧げることが第一の要でありまして、從來も在鄉軍人會、青少年團等の諸團體を統率して其實行を勵行にする如く指導をして居りますが今や我國は實に、國の地上より近くは南洋群島の地に亙り人知れざる困苦と缺乏し、生命を國家國民にさゝげつつ敢闘し、皇國の榮光を掲げつゝあります、私は職務に當り此　皇軍の勞苦の跡をも常に心の眼に置て整爲の實と一度いと考へて居ります

（寫眞上は兵事部の新看板　下は福永兵事部長）

軍事扶助規定

東京市で制定

【東京二日發同盟】出征軍人の家族に對する扶助の實施は更に强化を圖るため東京市では從來の軍事扶助とは別個に東京市軍事扶助規定を制定して生活援助、醫療、助產、營業費、埋葬費、葬祭費、傷病者などを給與することゝなり八月一日から實施した

新竹市民ハイキング六日擧行

【新竹電話】竹南向上の國民精神に鑑つて新竹市主催市民ハイキングは六日の日曜日にこれを擧行するが、參加者は午前八時新竹驛前より校庭に集、同校を出發、新竹近郊を經由で紡績會社に至り、休憩して午前の豫定を終り、午後は紡績會社に於て慰問會を開き、同會社の參加者二千餘名を收容して午後一時頃解散する筈である

對策を協議

重油値下に就いて

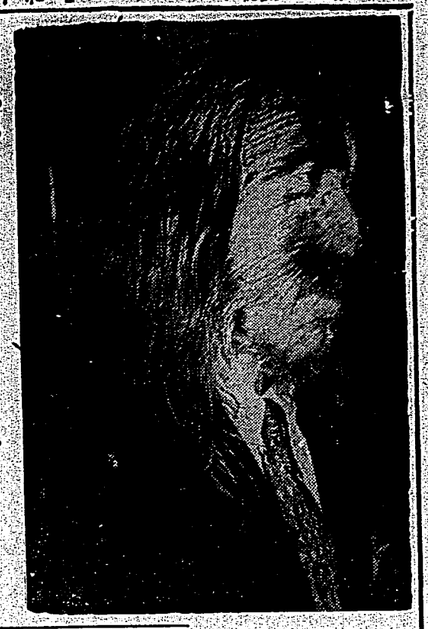
基隆の水產業者が

【基隆電話】昭和基隆に於ける水產業者の重油値下要求問題に就いてその筋から次開する　に依れば一日も早く實現を希望してゐるが、一日のロイター（昭和電極）に據れば昨年度の物價騰貴は特に甚しく、スリーキャッスルが一噸四元、コロナが一噸四元五、ユニオンが一噸四元五、ヘラルドが一噸四元五、ゴールデンバットが一噸四元五、ピースが一噸四元五、ホープ

紙屑をどうするか

『たきつけ』にするのはよくない

日本女子大學教授　氏家壽子



紙は、各家庭で毎日出て來る關西地方の一世帶を取つてゐるせう、紙の原料たるパルプが輸入に多く待つことを考へれば、貴重資源の立場から、國策に沿うて、屑紙を取扱はなくてはなりません、紙屑位と考へ、無關心に投げ込むことは改めなければなりません、廢物利用といつて、新聞紙をまるめて「たきつけ」にするなどは、一家より見れば、實費で經濟でもありますが、國家的資源回收を必要としてゐる時そんな小さな目前の要求に從ふ事は良くありません、燃やして灰にすると共に好ましくないばかりか、ねらつて小さいボロボロのゴミにしてしまつたり廢らしてしまつたりする事です、ですから從來の廢品の觀念を何十度か轉回することが、眼時の家庭經濟を考へる者の觀念を改めねばならぬ點です、ところで、家庭に廢品になる紙をどうしたらよいか、といへば、まとめて問屋に出すことは勿論、現金買約の上から、有效に利用する必要があります、次に申しあげる紙の利用法を參考にされれば幸甚して下さい。

×

封筒　一枚の價値のものは其儘はがして裏返しにします、元の樣に糊をつけると其儘そつくり封筒になつて今一度役に立ちます、二重封筒の方は中々上紙が厚くて裏返しの利かぬ場合があります。

頂いた手紙　の用途に應じ其まま或は裏返しの上（時に綴つて使ふ

これは薄い紙（包裝紙等）で別に被せたの樣な封筒になりまし、中と取り出してメモにしても便です、いきなりあくちやにして屑紙問屋に投入するのは心なき事と思はれます。

×

包裝紙　そのまま折り數の役を果す程はとたゝも御存じですが之を貼り合せて二枚重ねますと大變しつかりした物になります、たゝ紙にも良く、大きくすればたゝ紙の代用で荷物をたゝむ時など重寶の代用で荷物をたゝむ時など重寶は勿論、便利です、貼り合せる時の要點に二枚つけたら必ず良く乾かし前の棚が十分かいた後に匹に次を合せると云ふ樣にする事です、そもなく紙が寄り易く剥し物しかし出來ません。

×

その他、掛り紙、ビラ、古ハガキ等も工夫すれば、いづれもさまざまの代用になります、子供達の習字や圖畫の書き損じなども利用の方法を敎へてやれば、學用品を無駄にしなくなります。

紫外線よけの眼鏡は必要か

常用するのは却つて惡い

海濱や山野方へ出かける際、强烈な紫外線から眼を保護する爲に、紫外線除けの眼鏡が果して必要かどうかについて、とかく若い人は、伊がありますが、とかく若い人は、伊達に眼鏡をかけたがる傾向がありますが、これは、有害無益なことを知つておかねばなりません。紫外線は視力の健康の爲に必要であるのですから、出來るだけ、新鮮な空氣の處で日光浴をする事は體の爲によいのですが、これも程度問題で、必要以上に日光にさらされてゐると、日射病にかゝります。それと同樣に、眼にも眼を丈夫にする爲の程度の紫外線は必要なのです。しかし、これも程度があることを知つておかねばなりません。そこで、眼の强弱と云ふ事が問題になりますが、歐米人が日本に來ると必ず皆が黒色眼鏡をかけますが、これは雪眼は紫外線に對して非常に弱いので日本の樣に紫外線の强い處では、まことしい計りでなく、眼を「たゞ」るので、その紫防の必要上眼鏡をかけるのです。反對に印度人とか南洋人等の黒眼は紫外線に對して非常に强いので、その必要はありません。日本人はこの中間にある爲、日本人はこの中間にあるので、それで日光を餘り强く感じないで、眼がチラチラする事も餘り感じないふのは眼の爲にそんな、のですから、釣りに行くとか、海水浴、登山等に行つて、ひどく眼がチラ〳〵するやうな場合は是非紫外線除けの眼鏡をかける必要があります。

視力の强い人が、海や山へ行つた場合、スキーの時の雪眼の樣な強烈な刺戟になる事がありますから、特に眼の弱い人には紫外線除けの眼鏡が必要であります。しかし、これを常用してゐることは、眼に多少紫外線をあてない事になるので、却つて眼を弱めますから、用がすんだら、すぐに取外しますこれが眼に對しならぬやうに、くれぐれも注意いたします。

紫外線除けの眼鏡にも色々の種類がありますが、普通二十五パーセント位のものがよろしく、特に眼の弱い人は、もつと吸收力の强いものを用ふべきです。

尚、紫外線よけの眼鏡を、婦人が用ふる場合は、やはり美容上から考へて欲しいのですが、黒めがね等はよろしくありません。

（ドクトル小川守三）

子供と蜜豆

有害か無害か

東京でないと云ふ處などでは滅多にみつ豆といへる物の營業はわからぬかも知れませんが、季節的につてもある點豆も、これから先が一番好まれる時なので、子供さんをお持ちの家庭では、子供達の散歩のかへりは必ずみつ豆と相場は決つてゐる位のもの、しかし、よくこれを子供が食べた後下痢にかゝつたから、不消化で惱つたとかはきくことですが、さて親として子供にみつ豆は與へてもいいものかわるいものかを本社東京支局の記者が東京衛生試驗所技師某本邦太郎博士をお訪ねして伺つてみました

■

一般にみつ豆は子供には不向きな食品です、大體寒天の點豆とカンテンが、いづれも消化のわるい食物です、點豆は含水炭素を含む食品のうちでは、かなり消化時間を要するもので、殊に白點豆の場合はいよ〳〵時間を餘計に要します。カンテンはその大部分の成分がガラクタンといふ水溶素で、時に子供の指の爪は出來るだけ短かく切り爽かい手數をはめさせて指先には細のやうにするとかなり防ぐことが出來ます、その他には大した手當といふ程の事はいりません

この病氣は感染の直接傳染によつておこるもので、傳染病、傳染力があります、從つて流行し始めるとかなり猛烈なもので、殊に三、四歳以下の幼兒がかかるといろ〳〵病併發しますから注意しなければなりません

それで、この病氣は直接病人の肥に觸れなければ傳染しないですから、病人に近寄らせないやうにすることが一番大切です、なほ黒い面皮に落ち殘さぬ注意も必要であります、從つて病人の手當をする人は全身の消毒をよくしてしまつてから、家族の者と離れるやうにすることです、海水浴や山等に行つて、この病氣にかゝつたら、すぐ醫師の診斷を受けるやうにしたいものです。

傳染力の强い子供の水痘瘡

竹內薰兵

夏の子供には色々と皮膚病が多くなりますが、その中で水痘瘡は厄介な傳染性の皮膚病です。

今迄元氣に遊んでゐた子供が急に發熱を出すと同時に先づ頭を背などの肥に發疹の一種の赤い發疹がポツ〳〵と出來始めます、これはやがて膨れ上り、一日一日の間に水を持ち又二四日のうちに中の水が濁に變り次第に黒い痂皮が出來て四、五日のうちに痂皮が脫げて落ちてしまふのです、こゝが水痘の特徴として、その發疹は決して一時に現れて、一時に膿そうのでなく、初めに出來たものが膿を持ち始めた頃に又新らしいものが現れるので、身體には、いろ〳〵の發疹や新らしい發疹がポツポツとあるこゝに出來るのです、從つてそれらが全部治つてしまふ二十五日位の日數を要します。

この病氣は傳染力が强いので、一度家族の中に患者が出ますと、次から次へと傳染して行きます、從つて患者を隔離して置くことが必要であります、又患者の着物、寢具、食器等は必ず別にして

魯西亞船

（93）

土師清二作
坪内節太郎畫

下田港（九）

プチャチンは日露国境の統制を緩和して、通商條約を締結しようとしたのである。

彼は、主張した。

「露国と日本は近隣です。双方自由に交易をするのが第一です。交易をすれば自然と双方諒解ができ諒解が出来た上で国境問題を解決する。これが最も円満問題を解決する徐径ですね」

聖謨は、唆りを入れた。

「国境といはれるが、何処を指して云はれるのか、承はりたい」

「マダムさへ、御承知下されば……」

「マダムのことは、御相談次第で、どのやうにもなると思ひます」

「マダムの事はとにかく国境ですね。ただ今のお言葉に……相談次第で、どのやうにもなると仰有るのを見ると、露国としてもお見込めは無いやうに聞える。如何です」

「マダムさへお許可下さればよろしいのです」

「国政の事を承はりたい」

「日露通商條約を締結する、交易を許すと仰有るならば、樺太島は日本に差上げまする。樺太島は露領であるといふ證拠がありますが、差上げてもよろしい」

「さうですか……」

聖謨は、微笑してプチャチンの顔を見た。あきらかに「君は相当な男だね」と感歎してゐる微笑だった。

樺太島は千島列島中の最も大きな島で、西南に国後島、東北に擇捉島をひかへ、わが日本北門の重地を成してゐる。曾て露国人がわが幕府に迫し「露領なり」との証拠を立てたのだ。寛政十年近藤重蔵が最上徳内を命ぜられて、擇捉島に渡し、露国の標柱を抜き捨て「大日本属島」の標柱を立てたことは有名である。無論樺太島は我が日本国領土であつたのだ。

聖謨に笑はれて、さすがのプチャチンも照れかくしに云つた。

「いや、樺太島はともかくとしてですね。カラフトとサガレンを樺太島同称……ただ今のところでは、ここからが日本国領土、これより露西国領土といふスッキリとした国境が無い。通商交易など御許可下されるならば……国境のこと

新映畫

東寶映畫作品
越後獅子祭

原作　長谷川伸
演出　渡邊邦男
撮影　伊藤武夫

四郎は、諸国を転々と流れ歩いてゐる裡、破産して股旅稼業をかけ廻る旅鴉になつた。旅から旅への渡り鳥のやうな明け暮れに、牛四郎の胸の中に慢しく燃ばれるのは、遠い昔に聞き覚えた生れ故郷越後片貝の里であつた。若しや顔も知らずに別れた父母に逢えないものでもない、矢も楯もたまらない気持ちで、ふるさとの土を踏んだ牛四郎が、さて通りすがりに見たものは存んだくれの父親が金に困つて、我が子と越後獅子の親方に二両二分の金で売り渡さうとする現場だつた。己れの昔の境遇と同じその場の様子に、心を動かされた牛四郎は有金全部たたいて、その子を救ひ後から親方から叱つてやつた。脉布の一張を与へて、その夜の宿もとれず道端に蹲つてゐる子供の頭を撫でてやつた。

その頃片貝の里旅宿に宿をとつた横井弾右衛門は、駒澤治十郎の父を訪つて江戸に遊した身であるから、生家の白日なる名前と懐かしの縁故を思ひ出して、人々の在所を尋ねて、浪々の旅にやつれた駒澤治十郎を合せた駒澤治十郎の目は、喜びに輝いた。怨ふ二人は白刃をかざして斬結した。しかし、後井の縁故を信じてゐる人々は、旅にやつれた姿態態度な春十郎の姿と、相撲な言動に金々春十郎を仇と信じ込み、何かと春十郎の邪魔をし、弾右衛門の娘々たる懇意に、ひき込まれるやうに歩み寄つて己が歩々後なる身の上をしみじみと語てゐるのは涙り討ちになりかけて、今は生れもつかぬ片輪となつた駒澤治十郎であつた。気丈な小陣は〝駒澤さん、立派は御主人の敵討を聞いてゐると、いい加減くさくして来るやうにいたしませう。その品の儘は金銀で頂きます」

「それです！」

とプチャチンは膝を乗出した。

「われ〳〵は貿易ですから常に相当の金銀を持つて航海してゐる。

従つて金銀でお授けすることがもできる。商館の場合ですと、品物は積んでゐるが金銀を持つてゐない場合が多い。その時は、新水食料を頂いた代金のかはりに、品物を差上げるほかは無い。これ即ち交易するといふのは交易を許しだと同じ意味です。今一歩進めて頂きたい。通商條約を結んで頂きたい。うまいものだと、聖謨はプチャチンの言葉に感心しつつも、笑つて云つた。

「殿公は、日本の鮨をお食べになりましたね」

「スシ？」と反問するプチャチンに通詞が御飯と魚の説明をした。そこで聖謨が云つた。

「御身を楽にして酢を食べるのと刺身を摂りつけた鮨を食べるのと……結果は同じです。しかし、鮨は酢です。名称が違ひますね」

「スシ……なるほど」

とプチャチンは、聖謨がスシから如何なる結論を摑出して来るかと、興味をもつて、聖謨の顔を見て微笑した。

川小陣の一行の荷の上に半四郎と小陣が仲良く肩を並べてゐる。

今週の映画

暁に歸る

四日から國際館

監督はアンリー・コアン、撮影はビュッレル。主演はダニエル・メリュエー極機一ンガリーの片田舎のタヤ、今日は一地の歴史と少女アンタの結婚の日である。それから平和であるが刺激のない生活が初つた。ある日この地の城主オスタ氏の指刀でタヤ隣にブダペストから特急が停車する。この町

場と後の走けるのも忘れて呼び掛つた、そしてタヤ隣についた特急に二人の紳士に会ひその男の顔に近つた、そこへ警官が来て二人に乗車をかけた、彼女の手振がうタイヤの音響が出て来た、彼女が乗車七馬つてゐたのは國家的な芸風団だつた、オスタン氏の国言を聞いて彼女は驚きた彼の眼けんとするこの二人の紳士は、ブラウンの国務官である。

配役

片貝の牛四郎…長谷川一夫、後井弾之助…清川荘司、駒澤香十郎…島羽勝之助、曲芸の小陣…入江たか子

駒澤一未だ両親の顔も知らない子供の時、彼女の口減らしに片兵衛駒子の親方に売られた片貝の牛

カナ文字ニュース

▲ワガ ソラノ タイグンハ 三十一日、トホク 廣西省ノ 桂林ヲ クウシフ シマシタ。テキハ カウシヤハウヤ カウシヤキクワンジユウヲ ウチダシテ キマシタガ、ワガグンノ ヒカウキハ、コレヲ モノトモセズ、テキノ タイセツナ タテモノニ バクダンノ アメヲ フラセ、ゼンブ キヂヘカヘッテ キマシタ。桂林ノ マチハ、ヒヲオコシ、ドンドン モエアガリマシタ。

▲サクネンノ 五月 ワガグンガ センリヤウシタ 厦門ハ、タイワンノ オムカヒニアルシマデス。イマ ココニハ ワガクニノ ヒトガ 一マンニンチカクモ スンデヰマス。コノ ヒトタチハ 厦門ヲ リツパナ マチニ シヨウトシテ ヰマス。

チニ スルタメニ、ミンナ 一シヤウケンメイニ ハタライテ キマス。

八十四ニナル オバアサンガ、フジサンヘ ジユウゴノ オレイマヰリヲ シマシタ。山梨ケンノ ツルマオタミサンノ ヒトリムスコ イチラウサンハ、リツパナ タテヲ、コノマヘ センチカラカヘッテ キマシタ。オタミサンハ コレハタシガ オヤマニ ブウンチヤウキウヲ オイノリシタ オカゲデス トイツテ、ムスコサンガ トメルノモ キカズ、ヒノマルバンタウヲ コシニサゲ、タダ ヒトリツエヲ ヅイテ デカケマシタ。オタミサンハ 二十八日 フジサンノ ウヘヲ キバタヤマノ ウヘニアル アサマジンジヤニ オレイヲ キリヲシテ、ソレカラゲンキヨク ヤマヲ オリマシタ。

臺日案内

書籍
料金　十五円以上一割引　十円以上一割五分引　五円以上二割引　五円未満二割五分引

醫院
北京語通譯　李氏醫學博士　内科・婦人科・小兒科　診察時間　午前九時―十二時　午後二時―五時　日曜休診　電話2650

性病科
永吉醫院　西門町電車通

寫眞
カメラ中古品高價買入　北門町電車通

時計眼鏡
メガネは金光堂　兒玉前二丁目　電車通り七分

金融
商業電氣高利借用　御銀參上致します　金融二成社

藥種商
喘息にワンカ　服んで直ぐ効く　北門町電車通り四ノ番

吸入用酸素
中央一等局　第2世界館前

梅肉
吸入用酸素　北門九七番

洋服
婦人服地　婦人服地ハヤシ屋

帽子
ラチオ十ケ月賦販賣　ラチオ器械

履物
廣東娘　タイヘイの流行歌

雜件
夏テーブル掛　村井商店　白柄色物

特許商標
平戸のかまぼこ　平戸の摺味噌　風味の良い　基隆名物

新古日本刀賣買
シンガポール品の御用は當社へ　シンガポール日本刀賣買部

金庫
最臺北市　各種金庫販賣修理　安全手袋

簡單履
蝴蝶履　手製本位　北門電車通り一五四五番

不動産
臺北市　田中　洞海

村井商店
臺北市　王　先進

岸高鑑
臺北市　深海　榮子

冷藏庫製作は八木
臺北市　八木

砂糖
二斤袋入　定價　一圓

麥酒
六本入　定價　一圓

小麥
二斤袋入　定價　一圓

生糸
二斤袋入　定價　一圓

金銀
各種地金銀　古金銀買入

塊炭
三井鑛山　三井

棉花
八仙一〇〇　三井

株式社債
スチール株　アナコンダ株　工業株　社債　電力株　産業株　米ドル　英ポンド　米ドル　英ポンド

爲替
米ドル　英ポンド

正金建値
一ドル　一シリング　一ペンス

大阪砂糖現物
大阪砂糖取引所

大阪棉花前場
大阪綿糸布商組合

神戸爲替
神戸爲替

神戸豆粕前場
神戸豆粕商同業組合

横濱生絲前場
横濱生絲取引所

東京短期前場
東京短期取引所

東京國債前場
東京國債取引所

東京銀行賣株
東京銀行賣株

神戸期米前場
神戸期米取引所

東京期米前場
東京期米取引所

大阪期米前場
大阪期米取引所

東京銘柄濟算前場
東京銘柄濟算取引所

大阪長期前場
大阪長期取引所

大阪短期前場
大阪短期取引所

東京長期總取組
東京長期總取組

中場
中場

基隆在庫米
基隆在庫米

高雄在庫米
高雄在庫米

臺米現物相場
臺米現物相場

前場
前場

商況（三日）

淋病

菌淋の抗抵い強たつかなきで滅撲に日短の疾淋

迅轉急の法療治る足にて服内の擊衝一撃か

Therapir sterilisans magna fur Gonorshaseo

尿道・全身に洩れなし

淋菌を無毒ならしめ排泄せしめる

化學殺菌法

排尿痛止み、分泌物停止、尿の清澄、淋糸の消失等治癒經過によつて一單位内服にて遺憾なし

膀胱炎、副睾丸炎、攝護腺炎等に淋毒性疾患に治療難なし

江湖に送る治淋内服ケンゴールは、ヂメチールアミドの化學的淋菌絶滅作用と、異型物質の淋菌掃滅作用との治療素の有機的結合により急性慢性全般をして容易に治癒達成するを眼目として製出され、排尿痛止み、分泌物停止、尿の清澄、淋糸の消失等淋菌に對する俊鋭な撰擇的作用により全身の毛管細部に亘つて淋菌絶滅を容易にする獨特治療によつて尿路の治癒を進捗し、淋毒性の膀胱炎副睾丸炎攝護腺炎精巣炎關節炎等の樂治的奏効を以て淋疾治療を開拓したものである。

化學作用の治療達成に於る最短期は

ヂメチールアミドの化學作用が全身に滿たされ抗菌性細胞の構成後は、直ちに尿を透明にし淋菌掃滅の達成まで三日を以て足りるもの65%と して、外地内地の一致せる臨淋報告がなされてゐる。

治療に於る特長ある服藥法

本内服療法は、食直後一回六錠宛服用、一日三回（計十八錠）三日間續し次の休藥四日間と通計七日間を一單位（クール）とする獨性の治療法である。一單位治療にも、萬一、淋菌を證明する執拗な病型では、淋菌陰性となるまで二クール乃至四クール以上を反覆服用する。

急性、慢性化學治療素の相乘積作用

本療法の獨性作用として、排尿痛止み、分泌物停止、尿の清澄、淋糸の消失等經過を進捗する化學的尿道治療、全身に亘つて鋭敏な撰擇的作用との溶菌、滅菌、排菌等旺盛なる淋毒掃滅作用を以て、急性慢性悉く治療し治療上の冗費をはぶく。

身體には安全副作用無し

本劑は胃腸其他副作用無し、更に婦人淋疾の治効、淋疾の傳播を防ぐ豫防的効果を特徴とする。

適應症

淋病　急性・亞急性淋病・慢性淋病・細菌性非細菌性尿道炎・攝護腺炎・副睾丸炎・膀胱炎・淋毒性關節炎・腎盂炎・丹毒・産褥熱・敗血腺毒症・蟲樣突起炎・中耳炎・（婦人淋毒）

▼購求注意▲　全國有名藥店にあり、「内服ケンゴール」とお求めの際は必ず、品切れの時はカヲセ、振替で左記へ直接御註文ありたい。送料十五錢御負擔の事。内地に限り代金引換も御取扱ひします。

東京市芝區通新町十二番地
總代理店　河原商店
合名會社
振替番号（東京三五〇九番）
電話　三田一六八五・一六八六・一〇七〇番

最新發賣　服内

治淋　ケンゴール

一クール54錠　一圓五十錢
二クール108錠　二圓八十錢
四クール216錠　五圓三十錢
病院大量用（五〇〇錠）十二圓

LKD-2

（第二版）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）　昭和十四年八月四日（金曜日）　臺灣日日新報　第一万四千一百四十七號　（一）

臺灣日日新報

日本唯夕刊共二十頁
編輯人行政兼務　佐々木
臺北市表町二丁目一番地
社報新日日臺灣　所行發
定價（一ヶ月前金壹圓五拾錢　六ヶ月金三圓也拾錢　壹ヶ年金六圓也）
料廣告　普通一行十五字　壹回五拾錢　二回壹圓　三回壹圓五拾錢
特別一行十五字　壹回壹圓　二回壹圓五拾錢　三回貳圓
電話代表八〇五一番　編輯局八〇二番　營業局八〇二番

社說

沿岸や內臺間の船の問題

事變下だけに緊急性を增す

一

馬公の官民は、扨ら限く高雄馬公間の鐵航に依て交通問上多大の不便を感じ、靑こその對策についても協議してある譯であるが、この問題は、昨日や昨年の事ではなく、實に多年の懸案であり、愼み扱いて來た問題である。澎湖島と臺灣本島とを繋ぐ定期航路は、現在のところ關山丸一隻であつて奇數日に高雄及び馬公を出航し、約七時間、屏東で休憩すると錢だが、少し淺い爲に休憩すると錢だが、少し淺い爲に休憩すると錢だが、少し淺い爲に

經濟時事

日本石油の壽命

學者の說は遂に誤り

枯渴田の深い地下に原油

石炭液化の研究は長年の問題であるが、陸に石油に惠まれない我國に取つては全く死活的な問題である——それが今度滿洲の撫順炭礦といはれるドイツのそれをも凌ぐ研究が撫順炭礦で着々と進捗の工場にて完成されるに至つたさうだが、我らは我邦の石油産出の狀況はどうい風であるか、專門學者の說によれば、我國の明治時代の東大の學者は、明治四十一、二年頃に石油の壽命は遂に誤りて、後二十年も經てば油田は枯渴するといつて騷いでゐたものであつた、從つて我國の地質學の進歩と共に既に後二十年が來た今日に至つて、却つて最盛期よりも石油は增産してゐる、百萬田は今後と雖も數々發見されるであらうといはれてゐる

× ×

また最近油が出なくなつた所の

[illegible]

既知鑛が最も多く二千百十六、次いで新興鑛の千二百十八、舊開鑛の千二百十九、廢鑛の千二百六十九、休山鑛の一千二十八、二百鑛の一千七百五十八、二百鑛の一千二十九、百鑛の一千二十一の順位で他は二千鑛の二百六十九、新鑛の二百五十七、舊鑛の二百六十一、廢鑛の二百五十七、最新の二百二十七、休山鑛の二百二十六、新鑛の二百二十五、百鑛の一千六百六十四、二百鑛の一千六百六十三、百鑛の一千六百六十二、百鑛の一千六百六十一、百鑛の一千六百六十、百鑛の一千六百五十九、百鑛の一千六百五十八、百鑛の一千六百五十七、百鑛の一千六百五十六、百鑛の一千六百五十五、百鑛の一千六百五十四、百鑛の一千六百五十三、百鑛の一千六百五十二、百鑛の一千六百五十一、百鑛の一千六百五十、百鑛の一千六百四十九、百鑛の一千六百四十八、百鑛の一千六百四十七、百鑛の一千六百四十六、百鑛の一千六百四十五、百鑛の一千六百四十四、百鑛の一千六百四十三、百鑛の一千六百四十二、百鑛の一千六百四十一、百鑛の一千六百四十、百鑛の一千六百三十九、百鑛の一千六百三十八、百鑛の一千六百三十七、百鑛の一千六百三十六、百鑛の一千六百三十五、百鑛の一千六百三十四、百鑛の一千六百三十三、百鑛の一千六百三十二、百鑛の一千六百三十一、百鑛の一千六百三十、百鑛の一千六百二十九、百鑛の一千六百二十八、百鑛の一千六百二十七、百鑛の一千六百二十六、百鑛の一千六百二十五、百鑛の一千六百二十四、百鑛の一千六百二十三、百鑛の一千六百二十二、百鑛の一千六百二十一、百鑛の一千六百二十、百鑛の一千六百十九、百鑛の一千六百十八、百鑛の一千六百十七、百鑛の一千六百十六、百鑛の一千六百十五、百鑛の一千六百十四、百鑛の一千六百十三、百鑛の一千六百十二、百鑛の一千六百十一、百鑛の一千六百十、百鑛の一千六百九、百鑛の一千六百八、百鑛の一千六百七、百鑛の一千六百六、百鑛の一千六百五、百鑛の一千六百四、百鑛の一千六百三、百鑛の一千六百二、百鑛の一千六百一、百鑛の一千六百、百鑛の一千五百九十九、百鑛の一千五百九十八、百鑛の一千五百九十七、百鑛の一千五百九十六、百鑛の一千五百九十五、百鑛の一千五百九十四、百鑛の一千五百九十三、百鑛の一千五百九十二、百鑛の一千五百九十一、百鑛の一千五百九十、百鑛の一千五百八十九、百鑛の一千五百八十八、百鑛の一千五百八十七、百鑛の一千五百八十六、百鑛の一千五百八十五、百鑛の一千五百八十四、百鑛の一千五百八十三、百鑛の一千五百八十二、百鑛の一千五百八十一、百鑛の一千五百八十、百鑛の一千五百七十九、百鑛の一千五百七十八、百鑛の一千五百七十七、百鑛の一千五百七十六、百鑛の一千五百七十五、百鑛の一千五百七十四、百鑛の一千五百七十三、百鑛の一千五百七十二、百鑛の一千五百七十一、百鑛の一千五百七十、百鑛の一千五百六十九、百鑛の一千五百六十八、百鑛の一千五百六十七、百鑛の一千五百六十六、百鑛の一千五百六十五、百鑛の一千五百六十四、百鑛の一千五百六十三、百鑛の一千五百六十二、百鑛の一千五百六十一、百鑛の一千五百六十、百鑛の一千五百五十九、百鑛の一千五百五十八、百鑛の一千五百五十七、百鑛の一千五百五十六、百鑛の一千五百五十五、百鑛の一千五百五十四、百鑛の一千五百五十三、百鑛の一千五百五十二、百鑛の一千五百五十一、百鑛の一千五百五十、百鑛の一千五百四十九、百鑛の一千五百四十八、百鑛の一千五百四十七、百鑛の一千五百四十六、百鑛の一千五百四十五、百鑛の一千五百四十四、百鑛の一千五百四十三、百鑛の一千五百四十二、百鑛の一千五百四十一、百鑛の一千五百四十、百鑛の一千五百三十九、百鑛の一千五百三十八、百鑛の一千五百三十七、百鑛の一千五百三十六、百鑛の一千五百三十五、百鑛の一千五百三十四、百鑛の一千五百三十三、百鑛の一千五百三十二、百鑛の一千五百三十一、百鑛の一千五百三十、百鑛の一千五百二十九、百鑛の一千五百二十八、百鑛の一千五百二十七、百鑛の一千五百二十六、百鑛の一千五百二十五、百鑛の一千五百二十四、百鑛の一千五百二十三、百鑛の一千五百二十二、百鑛の一千五百二十一、百鑛の一千五百二十、百鑛の一千五百十九、百鑛の一千五百十八、百鑛の一千五百十七、百鑛の一千五百十六、百鑛の一千五百十五、百鑛の一千五百十四、百鑛の一千五百十三、百鑛の一千五百十二、百鑛の一千五百十一、百鑛の一千五百十、百鑛の一千五百九、百鑛の一千五百八、百鑛の一千五百七、百鑛の一千五百六、百鑛の一千五百五、百鑛の一千五百四、百鑛の一千五百三、百鑛の一千五百二、百鑛の一千五百一、百鑛の一千五百、百鑛の一千四百九十九、百鑛の一千四百九十八、百鑛の一千四百九十七、百鑛の一千四百九十六、百鑛の一千四百九十五、百鑛の一千四百九十四、百鑛の一千四百九十三、百鑛の一千四百九十二、百鑛の一千四百九十一、百鑛の一千四百九十、百鑛の一千四百八十九、百鑛の一千四百八十八、百鑛の一千四百八十七、百鑛の一千四百八十六、百鑛の一千四百八十五、百鑛の一千四百八十四、百鑛の一千四百八十三、百鑛の一千四百八十二、百鑛の一千四百八十一、百鑛の一千四百八十、百鑛の一千四百七十九、百鑛の一千四百七十八、百鑛の一千四百七十七、百鑛の一千四百七十六、百鑛の一千四百七十五、百鑛の一千四百七十四、百鑛の一千四百七十三、百鑛の一千四百七十二、百鑛の一千四百七十一、百鑛の一千四百七十、百鑛の一千四百六十九、百鑛の一千四百六十八、百鑛の一千四百六十七、百鑛の一千四百六十六、百鑛の一千四百六十五、百鑛の一千四百六十四、百鑛の一千四百六十三、百鑛の一千四百六十二、百鑛の一千四百六十一、百鑛の一千四百六十、百鑛の一千四百五十九、百鑛の一千四百五十八、百鑛の一千四百五十七、百鑛の一千四百五十六、百鑛の一千四百五十五、百鑛の一千四百五十四、百鑛の一千四百五十三、百鑛の一千四百五十二、百鑛の一千四百五十一、百鑛の一千四百五十、百鑛の一千四百四十九、百鑛の一千四百四十八、百鑛の一千四百四十七、百鑛の一千四百四十六、百鑛の一千四百四十五、百鑛の一千四百四十四、百鑛の一千四百四十三、百鑛の一千四百四十二、百鑛の一千四百四十一、百鑛の一千四百四十、百鑛の一千四百三十九、百鑛の一千四百三十八、百鑛の一千四百三十七、百鑛の一千四百三十六、百鑛の一千四百三十五、百鑛の一千四百三十四、百鑛の一千四百三十三、百鑛の一千四百三十二、百鑛の一千四百三十一、百鑛の一千四百三十、百鑛の一千四百二十九、百鑛の一千四百二十八、百鑛の一千四百二十七、百鑛の一千四百二十六、百鑛の一千四百二十五、百鑛の一千四百二十四、百鑛の一千四百二十三、百鑛の一千四百二十二、百鑛の一千四百二十一、百鑛の一千四百二十、百鑛の一千四百十九、百鑛の一千四百十八、百鑛の一千四百十七、百鑛の一千四百十六、百鑛の一千四百十五、百鑛の一千四百十四、百鑛の一千四百十三、百鑛の一千四百十二、百鑛の一千四百十一、百鑛の一千四百十、百鑛の一千四百九、百鑛の一千四百八、百鑛の一千四百七、百鑛の一千四百六、百鑛の一千四百五、百鑛の一千四百四、百鑛の一千四百三、百鑛の一千四百二、百鑛の一千四百一、百鑛の一千四百、百鑛の一千三百九十九、百鑛の一千三百九十八、百鑛の一千三百九十七、百鑛の一千三百九十六、百鑛の一千三百九十五、百鑛の一千三百九十四、百鑛の一千三百九十三、百鑛の一千三百九十二、百鑛の一千三百九十一、百鑛の一千三百九十、百鑛の一千三百八十九、百鑛の一千三百八十八、百鑛の一千三百八十七、百鑛の一千三百八十六、百鑛の一千三百八十五、百鑛の一千三百八十四、百鑛の一千三百八十三、百鑛の一千三百八十二、百鑛の一千三百八十一、百鑛の一千三百八十、百鑛の一千三百七十九、百鑛の一千三百七十八、百鑛の一千三百七十七、百鑛の一千三百七十六、百鑛の一千三百七十五、百鑛の一千三百七十四、百鑛の一千三百七十三、百鑛の一千三百七十二、百鑛の一千三百七十一、百鑛の一千三百七十、百鑛の一千三百六十九、百鑛の一千三百六十八、百鑛の一千三百六十七、百鑛の一千三百六十六、百鑛の一千三百六十五、百鑛の一千三百六十四、百鑛の一千三百六十三、百鑛の一千三百六十二、百鑛の一千三百六十一、百鑛の一千三百六十、百鑛の一千三百五十九、百鑛の一千三百五十八、百鑛の一千三百五十七、百鑛の一千三百五十六、百鑛の一千三百五十五、百鑛の一千三百五十四、百鑛の一千三百五十三、百鑛の一千三百五十二、百鑛の一千三百五十一、百鑛の一千三百五十、百鑛の一千三百四十九、百鑛の一千三百四十八、百鑛の一千三百四十七、百鑛の一千三百四十六、百鑛の一千三百四十五、百鑛の一千三百四十四、百鑛の一千三百四十三、百鑛の一千三百四十二、百鑛の一千三百四十一、百鑛の一千三百四十、百鑛の一千三百三十九、百鑛の一千三百三十八、百鑛の一千三百三十七、百鑛の一千三百三十六、百鑛の一千三百三十五、百鑛の一千三百三十四、百鑛の一千三百三十三、百鑛の一千三百三十二、百鑛の一千三百三十一、百鑛の一千三百三十、百鑛の一千三百二十九、百鑛の一千三百二十八、百鑛の一千三百二十七、百鑛の一千三百二十六、百鑛の一千三百二十五、百鑛の一千三百二十四、百鑛の一千三百二十三、百鑛の一千三百二十二、百鑛の一千三百二十一、百鑛の一千三百二十、百鑛の一千三百十九、百鑛の一千三百十八、百鑛の一千三百十七、百鑛の一千三百十六、百鑛の一千三百十五、百鑛の一千三百十四、百鑛の一千三百十三、百鑛の一千三百十二、百鑛の一千三百十一、百鑛の一千三百十、百鑛の一千三百九、百鑛の一千三百八、百鑛の一千三百七、百鑛の一千三百六、百鑛の一千三百五、百鑛の一千三百四、百鑛の一千三百三、百鑛の一千三百二、百鑛の一千三百一、百鑛の一千三百、百鑛の一千二百九十九、百鑛の一千二百九十八、百鑛の一千二百九十七、百鑛の一千二百九十六、百鑛の一千二百九十五、百鑛の一千二百九十四、百鑛の一千二百九十三、百鑛の一千二百九十二、百鑛の一千二百九十一、百鑛の一千二百九十、百鑛の一千二百八十九、百鑛の一千二百八十八、百鑛の一千二百八十七、百鑛の一千二百八十六、百鑛の一千二百八十五、百鑛の一千二百八十四、百鑛の一千二百八十三、百鑛の一千二百八十二、百鑛の一千二百八十一、百鑛の一千二百八十、百鑛の一千二百七十九、百鑛の一千二百七十八、百鑛の一千二百七十七、百鑛の一千二百七十六、百鑛の一千二百七十五、百鑛の一千二百七十四、百鑛の一千二百七十三、百鑛の一千二百七十二、百鑛の一千二百七十一、百鑛の一千二百七十、百鑛の一千二百六十九、百鑛の一千二百六十八、百鑛の一千二百六十七、百鑛の一千二百六十六、百鑛の一千二百六十五、百鑛の一千二百六十四、百鑛の一千二百六十三、百鑛の一千二百六十二、百鑛の一千二百六十一、百鑛の一千二百六十、百鑛の一千二百五十九、百鑛の一千二百五十八、百鑛の一千二百五十七、百鑛の一千二百五十六、百鑛の一千二百五十五、百鑛の一千二百五十四、百鑛の一千二百五十三、百鑛の一千二百五十二、百鑛の一千二百五十一、百鑛の一千二百五十、百鑛の一千二百四十九、百鑛の一千二百四十八、百鑛の一千二百四十七、百鑛の一千二百四十六、百鑛の一千二百四十五、百鑛の一千二百四十四、百鑛の一千二百四十三、百鑛の一千二百四十二、百鑛の一千二百四十一、百鑛の一千二百四十、百鑛の一千二百三十九、百鑛の一千二百三十八、百鑛の一千二百三十七、百鑛の一千二百三十六、百鑛の一千二百三十五、百鑛の一千二百三十四、百鑛の一千二百三十三、百鑛の一千二百三十二、百鑛の一千二百三十一、百鑛の一千二百三十、百鑛の一千二百二十九、百鑛の一千二百二十八、百鑛の一千二百二十七、百鑛の一千二百二十六、百鑛の一千二百二十五、百鑛の一千二百二十四、百鑛の一千二百二十三、百鑛の一千二百二十二、百鑛の一千二百二十一、百鑛の一千二百二十、百鑛の一千二百十九、百鑛の一千二百十八、百鑛の一千二百十七、百鑛の一千二百十六、百鑛の一千二百十五、百鑛の一千二百十四、百鑛の一千二百十三、百鑛の一千二百十二、百鑛の一千二百十一、百鑛の一千二百十、百鑛の一千二百九、百鑛の一千二百八、百鑛の一千二百七、百鑛の一千二百六、百鑛の一千二百五、百鑛の一千二百四、百鑛の一千二百三、百鑛の一千二百二、百鑛の一千二百一、百鑛の一千二百、百鑛の一千百九十九、百鑛の一千百九十八、百鑛の一千百九十七、百鑛の一千百九十六、百鑛の一千百九十五、百鑛の一千百九十四、百鑛の一千百九十三、百鑛の一千百九十二、百鑛の一千百九十一、百鑛の一千百九十、百鑛の一千百八十九、百鑛の一千百八十八、百鑛の一千百八十七、百鑛の一千百八十六、百鑛の一千百八十五、百鑛の一千百八十四、百鑛の一千百八十三、百鑛の一千百八十二、百鑛の一千百八十一、百鑛の一千百八十、百鑛の一千百七十九、百鑛の一千百七十八、百鑛の一千百七十七、百鑛の一千百七十六、百鑛の一千百七十五、百鑛の一千百七十四、百鑛の一千百七十三、百鑛の一千百七十二、百鑛の一千百七十一、百鑛の一千百七十、百鑛の一千百六十九、百鑛の一千百六十八、百鑛の一千百六十七、百鑛の一千百六十六、百鑛の一千百六十五、百鑛の一千百六十四、百鑛の一千百六十三、百鑛の一千百六十二、百鑛の一千百六十一、百鑛の一千百六十、百鑛の一千百五十九、百鑛の一千百五十八、百鑛の一千百五十七、百鑛の一千百五十六、百鑛の一千百五十五、百鑛の一千百五十四、百鑛の一千百五十三、百鑛の一千百五十二、百鑛の一千百五十一、百鑛の一千百五十、百鑛の一千百四十九、百鑛の一千百四十八、百鑛の一千百四十七、百鑛の一千百四十六、百鑛の一千百四十五、百鑛の一千百四十四、百鑛の一千百四十三、百鑛の一千百四十二、百鑛の一千百四十一、百鑛の一千百四十、百鑛の一千百三十九、百鑛の一千百三十八、百鑛の一千百三十七、百鑛の一千百三十六、百鑛の一千百三十五、百鑛の一千百三十四、百鑛の一千百三十三、百鑛の一千百三十二、百鑛の一千百三十一、百鑛の一千百三十、百鑛の一千百二十九、百鑛の一千百二十八、百鑛の一千百二十七、百鑛の一千百二十六、百鑛の一千百二十五、百鑛の一千百二十四、百鑛の一千百二十三、百鑛の一千百二十二、百鑛の一千百二十一、百鑛の一千百二十、百鑛の一千百十九、百鑛の一千百十八、百鑛の一千百十七、百鑛の一千百十六、百鑛の一千百十五、百鑛の一千百十四、百鑛の一千百十三、百鑛の一千百十二、百鑛の一千百十一、百鑛の一千百十、百鑛の一千百九、百鑛の一千百八、百鑛の一千百七、百鑛の一千百六、百鑛の一千百五、百鑛の一千百四、百鑛の一千百三、百鑛の一千百二、百鑛の一千百一、百鑛の一千百、百鑛の一千九十九、百鑛の一千九十八、百鑛の一千九十七、百鑛の一千九十六、百鑛の一千九十五、百鑛の一千九十四、百鑛の一千九十三、百鑛の一千九十二、百鑛の一千九十一、百鑛の一千九十、百鑛の一千八十九、百鑛の一千八十八、百鑛の一千八十七、百鑛の一千八十六、百鑛の一千八十五、百鑛の一千八十四、百鑛の一千八十三、百鑛の一千八十二、百鑛の一千八十一、百鑛の一千八十、百鑛の一千七十九、百鑛の一千七十八、百鑛の一千七十七、百鑛の一千七十六、百鑛の一千七十五、百鑛の一千七十四、百鑛の一千七十三、百鑛の一千七十二、百鑛の一千七十一、百鑛の一千七十、百鑛の一千六十九、百鑛の一千六十八、百鑛の一千六十七、百鑛の一千六十六、百鑛の一千六十五、百鑛の一千六十四、百鑛の一千六十三、百鑛の一千六十二、百鑛の一千六十一、百鑛の一千六十、百鑛の一千五十九、百鑛の一千五十八、百鑛の一千五十七、百鑛の一千五十六、百鑛の一千五十五、百鑛の一千五十四、百鑛の一千五十三、百鑛の一千五十二、百鑛の一千五十一、百鑛の一千五十、百鑛の一千四十九、百鑛の一千四十八、百鑛の一千四十七、百鑛の一千四十六、百鑛の一千四十五、百鑛の一千四十四、百鑛の一千四十三、百鑛の一千四十二、百鑛の一千四十一、百鑛の一千四十、百鑛の一千三十九、百鑛の一千三十八、百鑛の一千三十七、百鑛の一千三十六、百鑛の一千三十五、百鑛の一千三十四、百鑛の一千三十三、百鑛の一千三十二、百鑛の一千三十一、百鑛の一千三十、百鑛の一千二十九、百鑛の一千二十八、百鑛の一千二十七、百鑛の一千二十六、百鑛の一千二十五、百鑛の一千二十四、百鑛の一千二十三、百鑛の一千二十二、百鑛の一千二十一、百鑛の一千二十、百鑛の一千十九、百鑛の一千十八、百鑛の一千十七、百鑛の一千十六、百鑛の一千十五、百鑛の一千十四、百鑛の一千十三、百鑛の一千十二、百鑛の一千十一、百鑛の一千十、百鑛の一千九、百鑛の一千八、百鑛の一千七、百鑛の一千六、百鑛の一千五、百鑛の一千四、百鑛の一千三、百鑛の一千二、百鑛の一千一、百鑛の一千、百鑛の九百九十九、百鑛の九百九十八、百鑛の九百九十七、百鑛の九百九十六、百鑛の九百九十五、百鑛の九百九十四、百鑛の九百九十三、百鑛の九百九十二、百鑛の九百九十一、百鑛の九百九十、百鑛の九百八十九、百鑛の九百八十八、百鑛の九百八十七、百鑛の九百八十六、百鑛の九百八十五、百鑛の九百八十四、百鑛の九百八十三、百鑛の九百八十二、百鑛の九百八十一、百鑛の九百八十、百鑛の九百七十九、百鑛の九百七十八、百鑛の九百七十七、百鑛の九百七十六、百鑛の九百七十五、百鑛の九百七十四、百鑛の九百七十三、百鑛の九百七十二、百鑛の九百七十一、百鑛の九百七十、百鑛の九百六十九、百鑛の九百六十八、百鑛の九百六十七、百鑛の九百六十六、百鑛の九百六十五、百鑛の九百六十四、百鑛の九百六十三、百鑛の九百六十二、百鑛の九百六十一、百鑛の九百六十、百鑛の九百五十九、百鑛の九百五十八、百鑛の九百五十七、百鑛の九百五十六、百鑛の九百五十五、百鑛の九百五十四、百鑛の九百五十三、百鑛の九百五十二、百鑛の九百五十一、百鑛の九百五十、百鑛の九百四十九、百鑛の九百四十八、百鑛の九百四十七、百鑛の九百四十六、百鑛の九百四十五、百鑛の九百四十四、百鑛の九百四十三、百鑛の九百四十二、百鑛の九百四十一、百鑛の九百四十、百鑛の九百三十九、百鑛の九百三十八、百鑛の九百三十七、百鑛の九百三十六、百鑛の九百三十五、百鑛の九百三十四、百鑛の九百三十三、百鑛の九百三十二、百鑛の九百三十一、百鑛の九百三十、百鑛の九百二十九、百鑛の九百二十八、百鑛の九百二十七、百鑛の九百二十六、百鑛の九百二十五、百鑛の九百二十四、百鑛の九百二十三、百鑛の九百二十二、百鑛の九百二十一、百鑛の九百二十、百鑛の九百十九、百鑛の九百十八、百鑛の九百十七、百鑛の九百十六、百鑛の九百十五、百鑛の九百十四、百鑛の九百十三、百鑛の九百十二、百鑛の九百十一、百鑛の九百十、百鑛の九百九、百鑛の九百八、百鑛の九百七、百鑛の九百六、百鑛の九百五、百鑛の九百四、百鑛の九百三、百鑛の九百二、百鑛の九百一、百鑛の九百、百鑛の八百九十九、百鑛の八百九十八、百鑛の八百九十七、百鑛の八百九十六、百鑛の八百九十五、百鑛の八百九十四、百鑛の八百九十三、百鑛の八百九十二、百鑛の八百九十一、百鑛の八百九十、百鑛の八百八十九、百鑛の八百八十八、百鑛の八百八十七、百鑛の八百八十六、百鑛の八百八十五、百鑛の八百八十四、百鑛の八百八十三、百鑛の八百八十二、百鑛の八百八十一、百鑛の八百八十、百鑛の八百七十九、百鑛の八百七十八、百鑛の八百七十七、百鑛の八百七十六、百鑛の八百七十五、百鑛の八百七十四、百鑛の八百七十三、百鑛の八百七十二、百鑛の八百七十一、百鑛の八百七十、百鑛の八百六十九、百鑛の八百六十八、百鑛の八百六十七、百鑛の八百六十六、百鑛の八百六十五、百鑛の八百六十四、百鑛の八百六十三、百鑛の八百六十二、百鑛の八百六十一、百鑛の八百六十、百鑛の八百五十九、百鑛の八百五十八、百鑛の八百五十七、百鑛の八百五十六、百鑛の八百五十五、百鑛の八百五十四、百鑛の八百五十三、百鑛の八百五十二、百鑛の八百五十一、百鑛の八百五十、百鑛の八百四十九、百鑛の八百四十八、百鑛の八百四十七、百鑛の八百四十六、百鑛の八百四十五、百鑛の八百四十四、百鑛の八百四十三、百鑛の八百四十二、百鑛の八百四十一、百鑛の八百四十、百鑛の八百三十九、百鑛の八百三十八、百鑛の八百三十七、百鑛の八百三十六、百鑛の八百三十五、百鑛の八百三十四、百鑛の八百三十三、百鑛の八百三十二、百鑛の八百三十一、百鑛の八百三十、百鑛の八百二十九、百鑛の八百二十八、百鑛の八百二十七、百鑛の八百二十六、百鑛の八百二十五、百鑛の八百二十四、百鑛の八百二十三、百鑛の八百二十二、百鑛の八百二十一、百鑛の八百二十、百鑛の八百十九、百鑛の八百十八、百鑛の八百十七、百鑛の八百十六、百鑛の八百十五、百鑛の八百十四、百鑛の八百十三、百鑛の八百十二、百鑛の八百十一、百鑛の八百十、百鑛の八百九、百鑛の八百八、百鑛の八百七、百鑛の八百六、百鑛の八百五、百鑛の八百四、百鑛の八百三、百鑛の八百二、百鑛の八百一、百鑛の八百、百鑛の七百九十九、百鑛の七百九十八、百鑛の七百九十七、百鑛の七百九十六、百鑛の七百九十五、百鑛の七百九十四、百鑛の七百九十三、百鑛の七百九十二、百鑛の七百九十一、百鑛の七百九十、百鑛の七百八十九、百鑛の七百八十八、百鑛の七百八十七、百鑛の七百八十六、百鑛の七百八十五、百鑛の七百八十四、百鑛の七百八十三、百鑛の七百八十二、百鑛の七百八十一、百鑛の七百八十、百鑛の七百七十九、百鑛の七百七十八、百鑛の七百七十七、百鑛の七百七十六、百鑛の七百七十五、百鑛の七百七十四、百鑛の七百七十三、百鑛の七百七十二、百鑛の七百七十一、百鑛の七百七十、百鑛の七百六十九、百鑛の七百六十八、百鑛の七百六十七、百鑛の七百六十六、百鑛の七百六十五、百鑛の七百六十四、百鑛の七百六十三、百鑛の七百六十二、百鑛の七百六十一、百鑛の七百六十、百鑛の七百五十九、百鑛の七百五十八、百鑛の七百五十七、百鑛の七百五十六、百鑛の七百五十五、百鑛の七百五十四、百鑛の七百五十三、百鑛の七百五十二、百鑛の七百五十一、百鑛の七百五十、百鑛の七百四十九、百鑛の七百四十八、百鑛の七百四十七、百鑛の七百四十六、百鑛の七百四十五、百鑛の七百四十四、百鑛の七百四十三、百鑛の七百四十二、百鑛の七百四十一、百鑛の七百四十、百鑛の七百三十九、百鑛の七百三十八、百鑛の七百三十七、百鑛の七百三十六、百鑛の七百三十五、百鑛の七百三十四、百鑛の七百三十三、百鑛の七百三十二、百鑛の七百三十一、百鑛の七百三十、百鑛の七百二十九、百鑛の七百二十八、百鑛の七百二十七、百鑛の七百二十六、百鑛の七百二十五、百鑛の七百二十四、百鑛の七百二十三、百鑛の七百二十二、百鑛の七百二十一、百鑛の七百二十、百鑛の七百十九、百鑛の七百十八、百鑛の七百十七、百鑛の七百十六、百鑛の七百十五、百鑛の七百十四、百鑛の七百十三、百鑛の七百十二、百鑛の七百十一、百鑛の七百十、百鑛の七百九、百鑛の七百八、百鑛の七百七、百鑛の七百六、百鑛の七百五、百鑛の七百四、百鑛の七百三、百鑛の七百二、百鑛の七百一、百鑛の七百、百鑛の六百九十九、百鑛の六百九十八、百鑛の六百九十七、百鑛の六百九十六、百鑛の六百九十五、百鑛の六百九十四、百鑛の六百九十三、百鑛の六百九十二、百鑛の六百九十一、百鑛の六百九十、百鑛の六百八十九、百鑛の六百八十八、百鑛の六百八十七、百鑛の六百八十六、百鑛の六百八十五、百鑛の六百八十四、百鑛の六百八十三、百鑛の六百八十二、百鑛の六百八十一、百鑛の六百八十、百鑛の六百七十九、百鑛の六百七十八、百鑛の六百七十七、百鑛の六百七十六、百鑛の六百七十五、百鑛の六百七十四、百鑛の六百七十三、百鑛の六百七十二、百鑛の六百七十一、百鑛の六百七十、百鑛の六百六十九、百鑛の六百六十八、百鑛の六百六十七、百鑛の六百六十六、百鑛の六百六十五、百鑛の六百六十四、百鑛の六百六十三、百鑛の六百六十二、百鑛の六百六十一、百鑛の六百六十、百鑛の六百五十九、百鑛の六百五十八、百鑛の六百五十七、百鑛の六百五十六、百鑛の六百五十五、百鑛の六百五十四、百鑛の六百五十三、百鑛の六百五十二、百鑛の六百五十一、百鑛の六百五十、百鑛の六百四十九、百鑛の六百四十八、百鑛の六百四十七、百鑛の六百四十六、百鑛の六百四十五、百鑛の六百四十四、百鑛の六百四十三、百鑛の六百四十二、百鑛の六百四十一、百鑛の六百四十、百鑛の六百三十九、百鑛の六百三十八、百鑛の六百三十七、百鑛の六百三十六、百鑛の六百三十五、百鑛の六百三十四、百鑛の六百三十三、百鑛の六百三十二、百鑛の六百三十一、百鑛の六百三十、百鑛の六百二十九、百鑛の六百二十八、百鑛の六百二十七、百鑛の六百二十六、百鑛の六百二十五、百鑛の六百二十四、百鑛の六百二十三、百鑛の六百二十二、百鑛の六百二十一、百鑛の六百二十、百鑛の六百十九、百鑛の六百十八、百鑛の六百十七、百鑛の六百十六、百鑛の六百十五、百鑛の六百十四、百鑛の六百十三、百鑛の六百十二、百鑛の六百十一、百鑛の六百十、百鑛の六百九、百鑛の六百八、百鑛の六百七、百鑛の六百六、百鑛の六百五、百鑛の六百四、百鑛の六百三、百鑛の六百二、百鑛の六百一、百鑛の六百、百鑛の五百九十九、百鑛の五百九十八、百鑛の五百九十七、百鑛の五百九十六、百鑛の五百九十五、百鑛の五百九十四、百鑛の五百九十三、百鑛の五百九十二、百鑛の五百九十一、百鑛の五百九十、百鑛の五百八十九、百鑛の五百八十八、百鑛の五百八十七、百鑛の五百八十六、百鑛の五百八十五、百鑛の五百八十四、百鑛の五百八十三、百鑛の五百八十二、百鑛の五百八十一、百鑛の五百八十、百鑛の五百七十九、百鑛の五百七十八、百鑛の五百七十七、百鑛の五百七十六、百鑛の五百七十五、百鑛の五百七十四、百鑛の五百七十三、百鑛の五百七十二、百鑛の五百七十一、百鑛の五百七十、百鑛の五百六十九、百鑛の五百六十八、百鑛の五百六十七、百鑛の五百六十六、百鑛の五百六十五、百鑛の五百六十四、百鑛の五百六十三、百鑛の五百六十二、百鑛の五百六十一、百鑛の五百六十、百鑛の五百五十九、百鑛の五百五十八、百鑛の五百五十七、百鑛の五百五十六、百鑛の五百五十五、百鑛の五百五十四、百鑛の五百五十三、百鑛の五百五十二、百鑛の五百五十一、百鑛の五百五十、百鑛の五百四十九、百鑛の五百四十八、百鑛の五百四十七、百鑛の五百四十六、百鑛の五百四十五、百鑛の五百四十四、百鑛の五百四十三、百鑛の五百四十二、百鑛の五百四十一、百鑛の五百四十、百鑛の五百三十九、百鑛の五百三十八、百鑛の五百三十七、百鑛の五百三十六、百鑛の五百三十五、百鑛の五百三十四、百鑛の五百三十三、百鑛の五百三十二、百鑛の五百三十一、百鑛の五百三十、百鑛の五百二十九、百鑛の五百二十八、百鑛の五百二十七、百鑛の五百二十六、百鑛の五百二十五、百鑛の五百二十四、百鑛の五百二十三、百鑛の五百二十二、百鑛の五百二十一、百鑛の五百二十、百鑛の五百十九、百鑛の五百十八、百鑛の五百十七、百鑛の五百十六、百鑛の五百十五、百鑛の五百十四、百鑛の五百十三、百鑛の五百十二、百鑛の五百十一、百鑛の五百十、百鑛の五百九、百鑛の五百八、百鑛の五百七、百鑛の五百六、百鑛の五百五、百鑛の五百四、百鑛の五百三、百鑛の五百二、百鑛の五百一、百鑛の五百、百鑛の四百九十九、百鑛の四百九十八、百鑛の四百九十七、百鑛の四百九十六、百鑛の四百九十五、百鑛の四百九十四、百鑛の四百九十三、百鑛の四百九十二、百鑛の四百九十一、百鑛の四百九十、百鑛の四百八十九、百鑛の四百八十八、百鑛の四百八十七、百鑛の四百八十六、百鑛の四百八十五、百鑛の四百八十四、百鑛の四百八十三、百鑛の四百八十二、百鑛の四百八十一、百鑛の四百八十、百鑛の四百七十九、百鑛の四百七十八、百鑛の四百七十七、百鑛の四百七十六、百鑛の四百七十五、百鑛の四百七十四、百鑛の四百七十三、百鑛の四百七十二、百鑛の四百七十一、百鑛の四百七十、百鑛の四百六十九、百鑛の四百六十八、百鑛の四百六十七、百鑛の四百六十六、百鑛の四百六十五、百鑛の四百六十四、百鑛の四百六十三、百鑛の四百六十二、百鑛の四百六十一、百鑛の四百六十、百鑛の四百五十九、百鑛の四百五十八、百鑛の四百五十七、百鑛の四百五十六、百鑛の四百五十五、百鑛の四百五十四、百鑛の四百五十三、百鑛の四百五十二、百鑛の四百五十一、百鑛の四百五十、百鑛の四百四十九、百鑛の四百四十八、百鑛の四百四十七、百鑛の四百四十六、百鑛の四百四十五、百鑛の四百四十四、百鑛の四百四十三、百鑛の四百四十二、百鑛の四百四十一、百鑛の四百四十、百鑛の四百三十九、百鑛の四百三十八、百鑛の四百三十七、百鑛の四百三十六、百鑛の四百三十五、百鑛の四百三十四、百鑛の四百三十三、百鑛の四百三十二、百鑛の四百三十一、百鑛の四百三十、百鑛の四百二十九、百鑛の四百二十八、百鑛の四百二十七、百鑛の四百二十六、百鑛の四百二十五、百鑛の四百二十四、百鑛の四百二十三、百鑛の四百二十二、百鑛の四百二十一、百鑛の四百二十、百鑛の四百十九、百鑛の四百十八、百鑛の四百十七、百鑛の四百十六、百鑛の四百十五、百鑛の四百十四、百鑛の四百十三、百鑛の四百十二、百鑛の四百十一、百鑛の四百十、百鑛の四百九、百鑛の四百八、百鑛の四百七、百鑛の四百六、百鑛の四百五、百鑛の四百四、百鑛の四百三、百鑛の四百二、百鑛の四百一、百鑛の四百、百鑛の三百九十九、百鑛の三百九十八、百鑛の三百九十七、百鑛の三百九十六、百鑛の三百九十五、百鑛の三百九十四、百鑛の三百九十三、百鑛の三百九十二、百鑛の三百九十一、百鑛の三百九十、百鑛の三百八十九、百鑛の三百八十八、百鑛の三百八十七、百鑛の三百八十六、百鑛の三百八十五、百鑛の三百八十四、百鑛の三百八十三、百鑛の三百八十二、百鑛の三百八十一、百鑛の三百八十、百鑛の三百七十九、百鑛の三百七十八、百鑛の三百七十七、百鑛の三百七十六、百鑛の三百七十五、百鑛の三百七十四、百鑛の三百七十三、百鑛の三百七十二、百鑛の三百七十一、百鑛の三百七十、百鑛の三百六十九、百鑛の三百六十八、百鑛の三百六十七、百鑛の三百六十六、百鑛の三百六十五、百鑛の三百六十四、百鑛の三百六十三、百鑛の三百六十二、百鑛の三百六十一、百鑛の三百六十、百鑛の三百五十九、百鑛の三百五十八、百鑛の三百五十七、百鑛の三百五十六、百鑛の三百五十五、百鑛の三百五十四、百鑛の三百五十三、百鑛の三百五十二、百鑛の三百五十一、百鑛の三百五十、百鑛の三百四十九、百鑛の三百四十八、百鑛の三百四十七、百鑛の三百四十六、百鑛の三百四十五、百鑛の三百四十四、百鑛の三百四十三、百鑛の三百四十二、百鑛の三百四十一、百鑛の三百四十、百鑛の三百三十九、百鑛の三百三十八、百鑛の三百三十七、百鑛の三百三十六、百鑛の三百三十五、百鑛の三百三十四、百鑛の三百三十三、百鑛の三百三十二、百鑛の三百三十一、百鑛の三百三十、百鑛の三百二十九、百鑛の三百二十八、百鑛の三百二十七、百鑛の三百二十六、百鑛の三百二十五、百鑛の三百二十四、百鑛の三百二十三、百鑛の三百二十二、百鑛の三百二十一、百鑛の三百二十、百鑛の三百十九、百鑛の三百十八、百鑛の三百十七、百鑛の三百十六、百鑛の三百十五、百鑛の三百十四、

新支那建設途上に注目される聯合委員會（下）

△第二次聯合委員會（七月廿一日於北京）　聯合委員會の第二次會議は廿一日午前十時より北京日本大使館に於て開催された。出席者は次の如し。
日本側　喜多大使、多田駿中將、大橋忠一總領事、佐藤尚武參事官、大谷尚平參事官、岡崎勝男書記官、堀内干城書記官、大野勝巳書記官、
中華民國側　王揖唐、王克敏、梁鴻志、陳羣、齊燮元、王蔭泰、王子惠、王毓祥、温宗堯、王承斌、王揖唐氏は委員長として會議を主宰した。

△第二次聯合委員會（二十日於北京）　聯合委員會は二十日午前十時より北京日本大使館に於て開催された。出席者は次の如し。
日本側　喜多大使、多田駿中將、大橋忠一總領事、佐藤尚武參事官、大谷尚平參事官、岡崎勝男書記官、堀内干城書記官、大野勝巳書記官、
中華民國側　王揖唐、王克敏、梁鴻志、陳羣、齊燮元、王蔭泰、王子惠、王毓祥、温宗堯、王承斌、王揖唐氏は委員長として會議を主宰した。

△第三次聯合委員會（七月廿六日於北京）　聯合委員會は廿六日午前十時より北京日本大使館に於て開催された。出席者は次の如し。
日本側　喜多大使、多田駿中將、大橋忠一總領事、佐藤尚武參事官、大谷尚平參事官、岡崎勝男書記官、堀内干城書記官、大野勝巳書記官、
中華民國側　王揖唐、王克敏、梁鴻志、陳羣、齊燮元、王蔭泰、王子惠、王毓祥、温宗堯、王承斌、王揖唐氏は委員長として會議を主宰した。

△第四次聯合委員會（二十日於北京）　聯合委員會は二十日午前十時より北京日本大使館に於て開催された。出席者は次の如し。
日本側　喜多大使、多田駿中將、大橋忠一總領事、佐藤尚武參事官、大谷尚平參事官、岡崎勝男書記官、堀内干城書記官、大野勝巳書記官、
中華民國側　王揖唐、王克敏、梁鴻志、陳羣、齊燮元、王蔭泰、王子惠、王毓祥、温宗堯、王承斌、王揖唐氏は委員長として會議を主宰した。

支那事變の將來（六）

陸軍省情報部

人と經費と物資とはどの位要るか

國家總力戰といふ立場から觀れば、人も物も我が國の全力を擧げて戰つて居り、且つ將來長期に亙つて戰はなければなりません、從つて我が國の一年間の戰費と雖ても百億を單位として數へられる程の數字により、既に膨脹した歲出の數字により、既に膨脹した歲出の數字により、既に膨脹した歲出

空に殘れる

尾崎士郎作　高木清畫　(73)

夏すぎて（七）

「何だい、――？」

信作が彼女の方へくるりと顧りかえった。

「あたしね――あれらしいのよ」

伊保子は身體一ぱいに羞恥を波うたせながら、ひと向さん眼で信作の顔を見詰めた。

「あれ？」

女の羞恥を感じると、信作の眼には若い男が殺人をやらかしたあとのような凄さが加わるやうであった。

「あれって何だい？」

「厭らわ、あたし」

伊保子は首をくねるやうにして、

「赤ちゃんが出來たらしいの？」

「さうかい」

と言ひながら信作は慌てて上體を擡げた。

「そいつはおめでたいね、だけど」

意地のわるさうなせゝら笑ひをうかべた。

「その時はおれとは關係がなさうだな？」

「だいいち厭味よ」

「いや、――その素ん直さ、きっと同じ口調で言へるひとかゐるんだらうな？」

「何處かで？」

ギクリと胸元へ匕首を突きつけられたやうな、觀念的な不安にはれて伊保子は觀念的に信作の顔によりすがつた。

「そんなことを言はないでね、――あたし、あなたがきつと喜んでくれることである（是は榮子も馬の被少にのみ結び付けることは出來ない）

次に一般地方の運輸交通上に於ける馬の利用價値も軽視してはならぬ。兵單一自動車の發達が馬力の輕減を齎したことは事實であるが一方物資の運搬が繁しくなると盖し一層の關心を深むる必要のあることは贅言を要せぬのである

第二の問題たる地方馬力確保と改良問題である。之れは最も重要な問題であるが、我國馬政は滿洲事變以來、馬の需給關係上至大の影響を受け、馬價格の暴騰等各種の問題を胚胎して居るのである。幸ひ為政者の努力と統制とにより其後若々施設を講ぜられ國防上も產業上も大なる不安なきに至つたとは云へ、馬產の四復は長時日を要し且つ長期作戰を繼續してゐる今日、盖し數の維持增殖を圖らねばならず、殊に合理的特殊の地域と佳絡を有する關係上馬政計畫具現に關して愛護の運營を要せんのことは贅言を要せぬのである

地から「滿ヘ」工場から前線へ、度は統制船腹と町や村の間を往來する貨物の運搬は益々活潑となる此際動力機關と人力輸送の間に介在して馬力輸送が無ければ困難な輸送の圓滑と省力化とを目的として馬の必要性は重加されたが一般地方馬も其の需給關係上至大の影響を受け盖馬の不足、馬價格の暴騰等各種の問題を胚胎して居るのである。幸ひ為政者の努力と統制とにより其後若々施設を講ぜられ國防上も產業上も大なる不安なきに至つたとは云へ、馬產の四復は長時日を要し且つ長期作戰を繼續してゐる今日、盖し數の維持增殖を圖らねばならず、殊に合理的特殊の地域と佳絡を有する關係上馬政計畫具現に關して愛護の運營を要せんのことは贅言を要せぬのである

第二の問題たる地方馬力確保と改良問題である。之れは最も重要な問題であるが、我國馬政は滿洲事變以來、馬の需給關係上至大の影響を受け盖馬の不足、馬價格の暴騰等各種の問題を胚胎して居るのである。幸ひ為政者の努力と統制とにより其後若々施設を講ぜられ國防上も產業上も大なる不安なきに至つたとは云へ、馬產の四復は長時日を要し且つ長期作戰を繼續してゐる今日、盖し數の維持增殖を圖らねばならず、殊に合理的特殊の地域と佳絡を有する關係上馬政計畫具現に關して愛護の運營を要せんのことは贅言を要せぬのである

良く護り良く使ひ 農馬卽軍馬を期せ

今事變と軍馬に就いて（二）

陸軍獸醫學校教官　陸軍獸醫中佐　今泉幾三郎

我國農業經營は小農と呼ばれ、長なる點から同一規は出來ないと思ふが、大正十二年度調査頭數に於ける一戸當平均數は僅に一・一頭と云ふ驚異的の貧弱な狀態である。

最古の陶器

歐洲の大コンパは普通に漫手のもので、單孔のない把手と低い脚のついた陶器であつた。

而して從來の馬の改良の成果の完成に至らなかつた時期に前記の狀況であつたので第二期馬政の方針に再檢討を加ふると共に地方馬の改良すべき必要の起つた事は既に述べた通りである。

一、畜馬ノ方針ハ體力、輓曳力並將來ノ需要ニ應ジテ良馬ヲ生產スルヲ以テ第一義トシ乘馬型ノ生產ハ平時ニ於ケル軍ノ需要ヲ充タス程度トシテ之ヲ制限スルコト

二、種牡馬ノ配置ハ生產ノ實情及軍事上ノ必要ニ應ジテ適當ナル種類及數ヲ整備スルコト

三、種牝馬ノ畜馬ノ方針ニ關シテハ國營種牡馬ノ配置ト相俟チ民有牝馬ノ改良ニ必要ナル種類ト數トヲ整備スルコト

四、所要ノ軍用馬ニ付テハ民間ノ產業ヲ容易ナラシムルト共ニ其ノ能力ヲ向上シ戰時軍馬タルノ資格ニ適セシムルコト

五、競馬ハ種馬又ハ軍馬タルヘキ資格ヲ有スル馬ニ限リ之ヲ出走セシメ且ツ有效ニ軍馬資源ノ涵養ニ資スル樣セシムルコト

六、外國及外國ニ有ノ原ノ競ナル馬ノ輸入ニ關シテハ國ノ利益ヲ增進スル樣ニ有效ニ統制スルコト

（二）軍馬ノ資格及能力ニ關スル「軍馬ノ資格及能力ニ關スル件」其他計畫上細部ニ亙リ指導ニ關スル基礎ト成ルニ至ツタ

關東廳次官ニ於テハ昨年八月中旬新馬政ノ成案ヲ携帶シテ歸任之ヲ馬政調査會ニ附議シテ其ノ決定ヲ見ルニ至リ次テ今回十四號會ノ閣議ヲ經テ「軍馬資源保護法」及「種馬所有者ノ公布ヲ見ルニ至ツタコトニ一般ノ感知セラルル通りである

科學小話

二十六年前といふから一九〇二年オーストラリヤのグラムボーン地方の全地域に亙つて大量の雹が落下し大屋根、物置（重量二トン）は現在ロンドンの大英博物館に、第二番目のもの（重量一トン半）はお膝元のメルボルン博物館に納まつてゐる。第二の重量一トンのものは最近アメリカに渡りナショナル博物館に買ひとられた

×

今を去ること百數十年前、一八一〇年頃までに英國で無名の二女性が發見した化石の標本より十倍位の大きさのフイールド博物館の手に入つた

×

體細胞に關する研究も今や第二年に入り所謂基礎研究の段階を經ると共に應用研究に移つたのである。

氏は元貴族院、貴族院議員

植物の成長と十四の元素

（下）

太田正

この十元素は、いはば、植物學の古典的存在である。久しい間植物の生長にはこの十元素さへあればそれで事足りるやうに考られ今でもその學說をせてゐる教科書も少くはない。曾て帝大農學部に敎鞭をとつたドイツ植物生理化學の大家ロイブ博士のライムフアクター說などはその適なるものである。

新興帝國の聖戰も今や第二年に入り所謂基礎研究の段階を經ると共に應用研究に移つたのである。

講演

（六・三五）　鷹宮令松

◇北支那經濟開發の進展

氏は北支那開發株式會社理事、經濟方面に於ける新支那建設の進み工合如何といふ問題は國支三國が緊密に協力をせなければならぬ等につき御話してみたいと申します。

座談會

（七・四〇）

漢口の夏を語る

中支軍報道部　寺田　中佐
同報道部　野原　茂
大阪朝日新聞社　森下　春一
大阪每日新聞社　菅野　昌吉
讀賣新聞社　若松　重

特別講演

（八・三〇）　賀屋―興宣

脚氣とグルタチオン

古くから榮養學者の間には、脚氣の治療にビタミンBが効くのは、その酸化作用にあるとされてゐた。これは細胞にかつた動物の組織の細胞呼吸が衰微してくることから、脚氣を治すにビタミンBは、細胞に酸素を補給して呼吸作用を旺んにすると考へられた譯である。ところがフンク氏はグルタチオンが生體内で強めて明らかな酸化作用を起す事を認め、脚氣の治療にはビタミンBばかりでなく、このグルタチオンも非常必要であるとした。グルタチオンは（一フエ）圓に醫院に含まれてゐる。

薬價低廉（一日分）廿五日量一圓六十錢　八十三日量五圓

WAKAMOTO

株式會社わかもと本舗榮養と育兒の會
東京支店　東京市日本橋區通三丁目十七番地
振替東京一七〇〇番・電話代表芝二一七五番

ラヂオ

【六・三五】レコード演奏

【六・四〇】朝の擧銃・若き代議士の聲（レコード）

【六・四五】家庭百科（婦人家庭）

【七・〇〇】子供の時間（臺北）南の島の子供サークル、スミレ唱歌隊、伊奈一大阪ラヂオ・オーケストラ、指揮・服部良一からの手紙

【七・一〇】ニュース

【七・二〇】國民歌謠（大阪）

夜　【七・三〇】ラヂオ・オーケストラ、指揮・服部良一

【八・〇〇】講演（東京）

【八・一〇】講演（東京）

【八・二〇】ニュース

【八・三五】カレント・トピックス（東京）

【九・〇〇】子供の時間（臺北）

【九・二〇】時報・ニュース

【九・三〇】ラヂオ・オーケストラ、指揮・服部良一

【九・四五】家庭百科（婦人家庭）

【一〇・〇〇】幼兒の時間（臺北）

【一〇・二五】家庭料理（婦人家庭）

【一〇・四〇】ラヂオ體操

【一一・〇〇】ニュース

【一一・一〇】臺北中央放送局管絃樂團

【一二・〇〇】農業時間（東京）

【一二・一〇】ラヂオ體操

【一二・二〇】ニュース

【一二・三〇】臺北中央放送局管絃樂團

【一三・〇〇】ニュース

【一三・一〇】臺北中央放送局管絃樂團

【一四・〇〇】ニュース

【一四・一〇】臺北中央放送局管絃樂團

【一五・〇〇】ニュース

【一五・二〇】ハイキング・コース紹介（東京のみ）

【一五・三五】コドモのニュース（臺北）

【一六・〇〇】子供の時間（大阪）音樂會（八）子供のテキスト（第三五回）

【一六・一〇】子供の時間（東京）

【一六・三五】講演（東京）

【一七・〇〇】ニュース（臺北）

【一七・一〇】時報・ニュース・天氣豫報（東京）

【一七・一五】正午の時報（東京）公示（臺北）

【一七・二〇】ラヂオ體操

【一七・三〇】ニュース

【一七・四〇】ラヂオ體操

【一八・〇〇】ニュース

【一八・一〇】ラヂオ體操

【一八・二〇】ニュース

【一八・三〇】講演（東京）

【一八・四〇】ニュース

【一八・五〇】ラヂオ體操

【一九・〇〇】ニュース

【一九・一〇】ラヂオ體操

【一九・二〇】ニュース

【一九・三〇】ラヂオ體操

【一九・四〇】ニュース

【一九・五〇】ラヂオ體操

【二〇・〇〇】ニュース

【二〇・一〇】ラヂオ體操

【二〇・二〇】ニュース

【二〇・三〇】ラヂオ體操

【二〇・四〇】ニュース

【二〇・五〇】ラヂオ體操

【二一・〇〇】ニュース

【二一・一〇】ラヂオ體操

【二一・二〇】ニュース

【二一・三〇】ラヂオ體操

【二一・四〇】ニュース

【二一・五〇】ラヂオ體操

【二二・〇〇】ニュース

【二二・一〇】ラヂオ體操

【二二・二〇】ニュース

【二二・三〇】ラヂオ體操

【二二・四〇】ニュース

【二二・五〇】ラヂオ體操

【二三・〇〇】ニュース

【二三・一〇】ラヂオ體操

【二三・二〇】ニュース

【二三・三〇】ラヂオ體操

【二三・四〇】ニュース

【二三・五〇】ラヂオ體操

【二四・〇〇】ニュース

【二四・一〇】ラヂオ體操

【二四・二〇】ニュース

【二四・三〇】ラヂオ體操

【二四・四〇】ニュース

【二四・五〇】ラヂオ體操

【二五・〇〇】ニュース

【二五・一〇】ラヂオ體操

【二五・二〇】ニュース

【二五・三〇】ラヂオ體操

【二五・四〇】ニュース

【二五・五〇】ラヂオ體操

【二六・〇〇】ニュース

【二六・一〇】ラヂオ體操

【二六・二〇】ニュース

【二六・三〇】ラヂオ體操

【二六・四〇】ニュース

【二六・五〇】ラヂオ體操

【二七・〇〇】ニュース

【二七・一〇】ラヂオ體操

【二七・二〇】ニュース

【二七・三〇】ラヂオ體操

【二七・四〇】ニュース

【二七・五〇】ラヂオ體操

【二八・〇〇】ニュース

【二八・一〇】ラヂオ體操

【二八・二〇】ニュース

【二八・三〇】ラヂオ體操

【二八・四〇】ニュース

【二八・五〇】ラヂオ體操

【二九・〇〇】ニュース

【二九・一〇】ラヂオ體操

【二九・二〇】ニュース

【二九・三〇】ラヂオ體操

【二九・四〇】ニュース

【二九・五〇】ラヂオ體操

【三〇・〇〇】ニュース

【三〇・一〇】ラヂオ體操

【三〇・二〇】ニュース

【三〇・三〇】ラヂオ體操

【三〇・四〇】ニュース

【三〇・五〇】ラヂオ體操

【三一・〇〇】ニュース

【三一・一〇】ラヂオ體操

【三一・二〇】ニュース

【三一・三〇】ラヂオ體操

【三一・四〇】ニュース

【三一・五〇】ラヂオ體操

【三二・〇〇】ニュース

【三二・一〇】ラヂオ體操

【三二・二〇】ニュース

【三二・三〇】ラヂオ體操

【三二・四〇】ニュース

【三二・五〇】ラヂオ體操

【三三・〇〇】ニュース

【三三・一〇】ラヂオ體操

【三三・二〇】ニュース

【三三・三〇】ラヂオ體操

【三三・四〇】ニュース

【三三・五〇】ラヂオ體操

【三四・〇〇】ニュース

【三四・一〇】ラヂオ體操

【三四・二〇】ニュース

【三四・三〇】ラヂオ體操

【三四・四〇】ニュース

【三四・五〇】ラヂオ體操

【三五・〇〇】ニュース

【三五・一〇】ラヂオ體操

【三五・二〇】ニュース

【三五・三〇】ラヂオ體操

【三五・四〇】ニュース

【三五・五〇】ラヂオ體操

【三六・〇〇】ニュース

【三六・一〇】ラヂオ體操

【三六・二〇】ニュース

【三六・三〇】ラヂオ體操

【三六・四〇】ニュース

【三六・五〇】ラヂオ體操

【三七・〇〇】ニュース

【三七・一〇】ラヂオ體操

【三七・二〇】ニュース

【三七・三〇】ラヂオ體操

【三七・四〇】ニュース

【三七・五〇】ラヂオ體操

【三八・〇〇】ニュース

【三八・一〇】ラヂオ體操

【三八・二〇】ニュース

【三八・三〇】ラヂオ體操

【三八・四〇】ニュース

【三八・五〇】ラヂオ體操

【三九・〇〇】ニュース

【三九・一〇】ラヂオ體操

【三九・二〇】ニュース

【三九・三〇】ラヂオ體操

【三九・四〇】ニュース

【三九・五〇】ラヂオ體操

【四〇・〇〇】ニュース

【四〇・一〇】ラヂオ體操

【四〇・二〇】ニュース

【四〇・三〇】ラヂオ體操

【四〇・四〇】ニュース

【四〇・五〇】ラヂオ體操

【四一・〇〇】ニュース

【四一・一〇】ラヂオ體操

【四一・二〇】ニュース

【四一・三〇】ラヂオ體操

【四一・四〇】ニュース

【四一・五〇】ラヂオ體操

【四二・〇〇】ニュース

【四二・一〇】ラヂオ體操

【四二・二〇】ニュース

【四二・三〇】ラヂオ體操

【四二・四〇】ニュース

【四二・五〇】ラヂオ體操

【四三・〇〇】ニュース

【四三・一〇】ラヂオ體操

【四三・二〇】ニュース

【四三・三〇】ラヂオ體操

【四三・四〇】ニュース

【四三・五〇】ラヂオ體操

【四四・〇〇】ニュース

【四四・一〇】ラヂオ體操

【四四・二〇】ニュース

【四四・三〇】ラヂオ體操

【四四・四〇】ニュース

【四四・五〇】ラヂオ體操

【四五・〇〇】ニュース

【四五・一〇】ラヂオ體操

【四五・二〇】ニュース

【四五・三〇】ラヂオ體操

【四五・四〇】ニュース

【四五・五〇】ラヂオ體操

【四六・〇〇】ニュース

【四六・一〇】ラヂオ體操

【四六・二〇】ニュース

【四六・三〇】ラヂオ體操

【四六・四〇】ニュース

【四六・五〇】ラヂオ體操

【四七・〇〇】ニュース

【四七・一〇】ラヂオ體操

【四七・二〇】ニュース

【四七・三〇】ラヂオ體操

【四七・四〇】ニュース

【四七・五〇】ラヂオ體操

【四八・〇〇】ニュース

【四八・一〇】ラヂオ體操

【四八・二〇】ニュース

【四八・三〇】ラヂオ體操

【四八・四〇】ニュース

【四八・五〇】ラヂオ體操

【四九・〇〇】ニュース

【四九・一〇】ラヂオ體操

【四九・二〇】ニュース

【四九・三〇】ラヂオ體操

【四九・四〇】ニュース

【四九・五〇】ラヂオ體操

【五〇・〇〇】ニュース

【五〇・一〇】ラヂオ體操

【五〇・二〇】ニュース

【五〇・三〇】ラヂオ體操

【五〇・四〇】ニュース

【五〇・五〇】ラヂオ體操

【五一・〇〇】ニュース

【五一・一〇】ラヂオ體操

【五一・二〇】ニュース

【五一・三〇】ラヂオ體操

【五一・四〇】ニュース

【五一・五〇】ラヂオ體操

【五二・〇〇】ニュース

【五二・一〇】ラヂオ體操

【五二・二〇】ニュース

【五二・三〇】ラヂオ體操

【五二・四〇】ニュース

【五二・五〇】ラヂオ體操

【五三・〇〇】ニュース

【五三・一〇】ラヂオ體操

【五三・二〇】ニュース

【五三・三〇】ラヂオ體操

【五三・四〇】ニュース

【五三・五〇】ラヂオ體操

【五四・〇〇】ニュース

【五四・一〇】ラヂオ體操

【五四・二〇】ニュース

【五四・三〇】ラヂオ體操

【五四・四〇】ニュース

【五四・五〇】ラヂオ體操

【五五・〇〇】ニュース

【五五・一〇】ラヂオ體操

【五五・二〇】ニュース

【五五・三〇】ラヂオ體操

【五五・四〇】ニュース

【五五・五〇】ラヂオ體操

【五六・〇〇】ニュース

【五六・一〇】ラヂオ體操

【五六・二〇】ニュース

【五六・三〇】ラヂオ體操

【五六・四〇】ニュース

【五六・五〇】ラヂオ體操

【五七・〇〇】ニュース

【五七・一〇】ラヂオ體操

【五七・二〇】ニュース

【五七・三〇】ラヂオ體操

【五七・四〇】ニュース

【五七・五〇】ラヂオ體操

【五八・〇〇】ニュース

【五八・一〇】ラヂオ體操

【五八・二〇】ニュース

【五八・三〇】ラヂオ體操

【五八・四〇】ニュース

【五八・五〇】ラヂオ體操

【五九・〇〇】ニュース

【五九・一〇】ラヂオ體操

【五九・二〇】ニュース

【五九・三〇】ラヂオ體操

【五九・四〇】ニュース

【五九・五〇】ラヂオ體操

【六〇・〇〇】ニュース

【六〇・一〇】ラヂオ體操

【六〇・二〇】ニュース

【六〇・三〇】ラヂオ體操

【六〇・四〇】ニュース

【六〇・五〇】ラヂオ體操

【六一・〇〇】ニュース

【六一・一〇】ラヂオ體操

【六一・二〇】ニュース

【六一・三〇】ラヂオ體操

【六一・四〇】ニュース

【六一・五〇】ラヂオ體操

【六二・〇〇】ニュース

【六二・一〇】ラヂオ體操

【六二・二〇】ニュース

【六二・三〇】ラヂオ體操

【六二・四〇】ニュース

【六二・五〇】ラヂオ體操

【六三・〇〇】ニュース

【六三・一〇】ラヂオ體操

【六三・二〇】ニュース

【六三・三〇】ラヂオ體操

【六三・四〇】ニュース

【六三・五〇】ラヂオ體操

【六四・〇〇】ニュース

【六四・一〇】ラヂオ體操

【六四・二〇】ニュース

【六四・三〇】ラヂオ體操

【六四・四〇】ニュース

【六四・五〇】ラヂオ體操

【六五・〇〇】ニュース

【六五・一〇】ラヂオ體操

【六五・二〇】ニュース

【六五・三〇】ラヂオ體操

【六五・四〇】ニュース

【六五・五〇】ラヂオ體操

【六六・〇〇】ニュース

【六六・一〇】ラヂオ體操

【六六・二〇】ニュース

【六六・三〇】ラヂオ體操

【六六・四〇】ニュース

【六六・五〇】ラヂオ體操

【六七・〇〇】ニュース

【六七・一〇】ラヂオ體操

【六七・二〇】ニュース

【六七・三〇】ラヂオ體操

【六七・四〇】ニュース

【六七・五〇】ラヂオ體操

【六八・〇〇】ニュース

【六八・一〇】ラヂオ體操

【六八・二〇】ニュース

【六八・三〇】ラヂオ體操

【六八・四〇】ニュース

【六八・五〇】ラヂオ體操

【六九・〇〇】ニュース

【六九・一〇】ラヂオ體操

【六九・二〇】ニュース

【六九・三〇】ラヂオ體操

【六九・四〇】ニュース

【六九・五〇】ラヂオ體操

【七〇・〇〇】ニュース

【七〇・一〇】ラヂオ體操

【七〇・二〇】ニュース

【七〇・三〇】ラヂオ體操

【七〇・四〇】ニュース

【七〇・五〇】ラヂオ體操

【七一・〇〇】ニュース

【七一・一〇】ラヂオ體操

【七一・二〇】ニュース

【七一・三〇】ラヂオ體操

【七一・四〇】ニュース

【七一・五〇】ラヂオ體操

【七二・〇〇】ニュース

【七二・一〇】ラヂオ體操

【七二・二〇】ニュース

【七二・三〇】ラヂオ體操

【七二・四〇】ニュース

【七二・五〇】ラヂオ體操

【七三・〇〇】ニュース

【七三・一〇】ラヂオ體操

【七三・二〇】ニュース

【七三・三〇】ラヂオ體操

【七三・四〇】ニュース

【七三・五〇】ラヂオ體操

【七四・〇〇】ニュース

【七四・一〇】ラヂオ體操

【七四・二〇】ニュース

【七四・三〇】ラヂオ體操

【七四・四〇】ニュース

【七四・五〇】ラヂオ體操

【七五・〇〇】ニュース

【七五・一〇】ラヂオ體操

【七五・二〇】ニュース

【七五・三〇】ラヂオ體操

【七五・四〇】ニュース

【七五・五〇】ラヂオ體操

【七六・〇〇】ニュース

【七六・一〇】ラヂオ體操

【七六・二〇】ニュース

【七六・三〇】ラヂオ體操

【七六・四〇】ニュース

【七六・五〇】ラヂオ體操

【七七・〇〇】ニュース

【七七・一〇】ラヂオ體操

【七七・二〇】ニュース

【七七・三〇】ラヂオ體操

【七七・四〇】ニュース

【七七・五〇】ラヂオ體操

【七八・〇〇】ニュース

【七八・一〇】ラヂオ體操

【七八・二〇】ニュース

【七八・三〇】ラヂオ體操

【七八・四〇】ニュース

【七八・五〇】ラヂオ體操

【七九・〇〇】ニュース

【七九・一〇】ラヂオ體操

【七九・二〇】ニュース

【七九・三〇】ラヂオ體操

【七九・四〇】ニュース

【七九・五〇】ラヂオ體操

【八〇・〇〇】ニュース

【八〇・一〇】ラヂオ體操

【八〇・二〇】ニュース

【八〇・三〇】ラヂオ體操

【八〇・四〇】ニュース

【八〇・五〇】ラヂオ體操

【八一・〇〇】ニュース

【八一・一〇】ラヂオ體操

【八一・二〇】ニュース

【八一・三〇】ラヂオ體操

【八一・四〇】ニュース

【八一・五〇】ラヂオ體操

【八二・〇〇】ニュース

【八二・一〇】ラヂオ體操

【八二・二〇】ニュース

【八二・三〇】ラヂオ體操

【八二・四〇】ニュース

【八二・五〇】ラヂオ體操

【八三・〇〇】ニュース

【八三・一〇】ラヂオ體操

【八三・二〇】ニュース

【八三・三〇】ラヂオ體操

【八三・四〇】ニュース

【八三・五〇】ラヂオ體操

【八四・〇〇】ニュース

【八四・一〇】ラヂオ體操

【八四・二〇】ニュース

【八四・三〇】ラヂオ體操

【八四・四〇】ニュース

【八四・五〇】ラヂオ體操

【八五・〇〇】ニュース

【八五・一〇】ラヂオ體操

【八五・二〇】ニュース

【八五・三〇】ラヂオ體操

【八五・四〇】ニュース

【八五・五〇】ラヂオ體操

【八六・〇〇】ニュース

【八六・一〇】ラヂオ體操

【八六・二〇】ニュース

【八六・三〇】ラヂオ體操

【八六・四〇】ニュース

【八六・五〇】ラヂオ體操

【八七・〇〇】ニュース

【八七・一〇】ラヂオ體操

【八七・二〇】ニュース

【八七・三〇】ラヂオ體操

【八七・四〇】ニュース

【八七・五〇】ラヂオ體操

【八八・〇〇】ニュース

【八八・一〇】ラヂオ體操

【八八・二〇】ニュース

【八八・三〇】ラヂオ體操

【八八・四〇】ニュース

【八八・五〇】ラヂオ體操

【八九・〇〇】ニュース

【八九・一〇】ラヂオ體操

【八九・二〇】ニュース

【八九・三〇】ラヂオ體操

【八九・四〇】ニュース

【八九・五〇】ラヂオ體操

【九〇・〇〇】ニュース

【九〇・一〇】ラヂオ體操

【九〇・二〇】ニュース

【九〇・三〇】ラヂオ體操

【九〇・四〇】ニュース

【九〇・五〇】ラヂオ體操

【九一・〇〇】ニュース

【九一・一〇】ラヂオ體操

【九一・二〇】ニュース

【九一・三〇】ラヂオ體操

【九一・四〇】ニュース

【九一・五〇】ラヂオ體操

【九二・〇〇】ニュース

【九二・一〇】ラヂオ體操

【九二・二〇】ニュース

【九二・三〇】ラヂオ體操

【九二・四〇】ニュース

【九二・五〇】ラヂオ體操

【九三・〇〇】ニュース

【九三・一〇】ラヂオ體操

【九三・二〇】ニュース

【九三・三〇】ラヂオ體操

【九三・四〇】ニュース

【九三・五〇】ラヂオ體操

【九四・〇〇】ニュース

【九四・一〇】ラヂオ體操

【九四・二〇】ニュース

【九四・三〇】ラヂオ體操

【九四・四〇】ニュース

【九四・五〇】ラヂオ體操

【九五・〇〇】ニュース

【九五・一〇】ラヂオ體操

【九五・二〇】ニュース

【九五・三〇】ラヂオ體操

【九五・四〇】ニュース

【九五・五〇】ラヂオ體操

【九六・〇〇】ニュース

【九六・一〇】ラヂオ體操

【九六・二〇】ニュース

【九六・三〇】ラヂオ體操

【九六・四〇】ニュース

【九六・五〇】ラヂオ體操

【九七・〇〇】ニュース

【九七・一〇】ラヂオ體操

【九七・二〇】ニュース

【九七・三〇】ラヂオ體操

【九七・四〇】ニュース

【九七・五〇】ラヂオ體操

【九八・〇〇】ニュース

【九八・一〇】ラヂオ體操

【九八・二〇】ニュース

【九八・三〇】ラヂオ體操

【九八・四〇】ニュース

【九八・五〇】ラヂオ體操

【九九・〇〇】ニュース

【九九・一〇】ラヂオ體操

【九九・二〇】ニュース

【九九・三〇】ラヂオ體操

【九九・四〇】ニュース

【九九・五〇】ラヂオ體操

【一〇〇・〇〇】ニュース

【一〇〇・一〇】ラヂオ體操

【一〇〇・二〇】ニュース

【一〇〇・三〇】ラヂオ體操

【一〇〇・四〇】ニュース

【一〇〇・五〇】ラヂオ體操

【一〇一・〇〇】ニュース

【一〇一・一〇】ラヂオ體操

【一〇一・二〇】ニュース

【一〇一・三〇】ラヂオ體操

【一〇一・四〇】ニュース

【一〇一・五〇】ラヂオ體操

【一〇二・〇〇】ニュース

【一〇二・一〇】ラヂオ體操

【一〇二・二〇】ニュース

【一〇二・三〇】ラヂオ體操

【一〇二・四〇】ニュース

【一〇二・五〇】ラヂオ體操

【一〇三・〇〇】ニュース

【一〇三・一〇】ラヂオ體操

【一〇三・二〇】ニュース

【一〇三・三〇】ラヂオ體操

【一〇三・四〇】ニュース

【一〇三・五〇】ラヂオ體操

【一〇四・〇〇】ニュース

【一〇四・一〇】ラヂオ體操

【一〇四・二〇】ニュース

【一〇四・三〇】ラヂオ體操

【一〇四・四〇】ニュース

【一〇四・五〇】ラヂオ體操

【一〇五・〇〇】ニュース

【一〇五・一〇】ラヂオ體操

【一〇五・二〇】ニュース

【一〇五・三〇】ラヂオ體操

【一〇五・四〇】ニュース

【一〇五・五〇】ラヂオ體操

【一〇六・〇〇】ニュース

【一〇六・一〇】ラヂオ體操

【一〇六・二〇】ニュース

【一〇六・三〇】ラヂオ體操

【一〇六・四〇】ニュース

【一〇六・五〇】ラヂオ體操

【一〇七・〇〇】ニュース

【一〇七・一〇】ラヂオ體操

【一〇七・二〇】ニュース

【一〇七・三〇】ラヂオ體操

【一〇七・四〇】ニュース

【一〇七・五〇】ラヂオ體操

【一〇八・〇〇】ニュース

【一〇八・一〇】ラヂオ體操

【一〇八・二〇】ニュース

【一〇八・三〇】ラヂオ體操

【一〇八・四〇】ニュース

【一〇八・五〇】ラヂオ體操

【一〇九・〇〇】ニュース

【一〇九・一〇】ラヂオ體操

【一〇九・二〇】ニュース

【一〇九・三〇】ラヂオ體操

【一〇九・四〇】ニュース

【一〇九・五〇】ラヂオ體操

【一一〇・〇〇】ニュース

【一一〇・一〇】ラヂオ體操

【一一〇・二〇】ニュース

【一一〇・三〇】ラヂオ體操

【一一〇・四〇】ニュース

【一一〇・五〇】ラヂオ體操

【一一一・〇〇】ニュース

【一一一・一〇】ラヂオ體操

【一一一・二〇】ニュース

【一一一・三〇】ラヂオ體操

【一一一・四〇】ニュース

【一一一・五〇】ラヂオ體操

【一一二・〇〇】ニュース

【一一二・一〇】ラヂオ體操

【一一二・二〇】ニュース

【一一二・三〇】ラヂオ體操

【一一二・四〇】ニュース

【一一二・五〇】ラヂオ體操

【一一三・〇〇】ニュース

【一一三・一〇】ラヂオ體操

【一一三・二〇】ニュース

【一一三・三〇】ラヂオ體操

【一一三・四〇】ニュース

【一一三・五〇】ラヂオ體操

【一一四・〇〇】ニュース

【一一四・一〇】ラヂオ體操

【一一四・二〇】ニュース

【一一四・三〇】ラヂオ體操

【一一四・四〇】ニュース

【一一四・五〇】ラヂオ體操

【一一五・〇〇】ニュース

【一一五・一〇】ラヂオ體操

【一一五・二〇】ニュース

【一一五・三〇】ラヂオ體操

【一一五・四〇】ニュース

【一一五・五〇】ラヂオ體操

【一一六・〇〇】ニュース

【一一六・一〇】ラヂオ體操

【一一六・二〇】ニュース

【一一六・三〇】ラヂオ體操

【一一六・四〇】ニュース

【一一六・五〇】ラヂオ體操

【一一七・〇〇】ニュース

【一一七・一〇】ラヂオ體操

【一一七・二〇】ニュース

【一一七・三〇】ラヂオ體操

【一一七・四〇】ニュース

【一一七・五〇】ラヂオ體操

【一一八・〇〇】ニュース

【一一八・一〇】ラヂオ體操

【一一八・二〇】ニュース

【一一八・三〇】ラヂオ體操

【一一八・四〇】ニュース

【一一八・五〇】ラヂオ體操

【一一九・〇〇】ニュース

【一一九・一〇】ラヂオ體操

【一一九・二〇】ニュース

【一一九・三〇】ラヂオ體操

【一一九・四〇】ニュース

【一一九・五〇】ラヂオ體操

【一二〇・〇〇】ニュース

【一二〇・一〇】ラヂオ體操

【一二〇・二〇】ニュース

【一二〇・三〇】ラヂオ體操

【一二〇・四〇】ニュース

【一二〇・五〇】ラヂオ體操

【一二一・〇〇】ニュース

【一二一・一〇】ラヂオ體操

【一二一・二〇】ニュース

【一二一・三〇】ラヂオ體操

【一二一・四〇】ニュース

【一二一・五〇】ラヂオ體操

【一二二・〇〇】ニュース

【一二二・一〇】ラヂオ體操

【一二二・二〇】ニュース

【一二二・三〇】ラヂオ體操

【一二二・四〇】ニュース

【一二二・五〇】ラヂオ體操

【一二三・〇〇】ニュース

【一二三・一〇】ラヂオ體操

【一二三・二〇】ニュース

【一二三・三〇】ラヂオ體操

【一二三・四〇】ニュース

【一二三・五〇】ラヂオ體操

【一二四・〇〇】ニュース

【一二四・一〇】ラヂオ體操

【一二四・二〇】ニュース

【一二四・三〇】ラヂオ體操

【一二四・四〇】ニュース

【一二四・五〇】ラヂオ體操

【一二五・〇〇】ニュース

【一二五・一〇】ラヂオ體操

【一二五・二〇】ニュース

【一二五・三〇】ラヂオ體操

【一二五・四〇】ニュース

【一二五・五〇】ラヂオ體操

【一二六・〇〇】ニュース

【一二六・一〇】ラヂオ體操

【一二六・二〇】ニュース

【一二六・三〇】ラヂオ體操

【一二六・四〇】ニュース

【一二六・五〇】ラヂオ體操

【一二七・〇〇】ニュース

【一二七・一〇】ラヂオ體操

【一二七・二〇】ニュース

【一二七・三〇】ラヂオ體操

【一二七・四〇】ニュース

【一二七・五〇】ラヂオ體操

【一二八・〇〇】ニュース

【一二八・一〇】ラヂオ體操

【一二八・二〇】ニュース

【一二八・三〇】ラヂオ體操

【一二八・四〇】ニュース

【一二八・五〇】ラヂオ體操

【一二九・〇〇】ニュース

【一二九・一〇】ラヂオ體操

【一二九・二〇】ニュース

【一二九・三〇】ラヂオ體操

【一二九・四〇】ニュース

【一二九・五〇】ラヂオ體操

【一三〇・〇〇】ニュース

【一三〇・一〇】ラヂオ體操

【一三〇・二〇】ニュース

【一三〇・三〇】ラヂオ體操

【一三〇・四〇】ニュース

【一三〇・五〇】ラヂオ體操

【一三一・〇〇】ニュース

【一三一・一〇】ラヂオ體操

【一三一・二〇】ニュース

【一三一・三〇】ラヂオ體操

【一三一・四〇】ニュース

【一三一・五〇】ラヂオ體操

【一三二・〇〇】ニュース

【一三二・一〇】ラヂオ體操

【一三二・二〇】ニュース

【一三二・三〇】ラヂオ體操

【一三二・四〇】ニュース

【一三二・五〇】ラヂオ體操

【一三三・〇〇】ニュース

【一三三・一〇】ラヂオ體操

【一三三・二〇】ニュース

【一三三・三〇】ラヂオ體操

【一三三・四〇】ニュース

【一三三・五〇】ラヂオ體操

【一三四・〇〇】ニュース

【一三四・一〇】ラヂオ體操

【一三四・二〇】ニュース

【一三四・三〇】ラヂオ體操

【一三四・四〇】ニュース

【一三四・五〇】ラヂオ體操

【一三五・〇〇】ニュース

【一三五・一〇】ラヂオ體操

【一三五・二〇】ニュース

【一三五・三〇】ラヂオ體操

【一三五・四〇】ニュース

【一三五・五〇】ラヂオ體操

【一三六・〇〇】ニュース

【一三六・一〇】ラヂオ體操

【一三六・二〇】ニュース

【一三六・三〇】ラヂオ體操

【一三六・四〇】ニュース

【一三六・五〇】ラヂオ體操

【一三七・〇〇】ニュース

【一三七・一〇】ラヂオ體操

【一三七・二〇】ニュース

【一三七・三〇】ラヂオ體操

【一三七・四〇】ニュース

【一三七・五〇】ラヂオ體操

【一三八・〇〇】ニュース

【一三八・一〇】ラヂオ體操

【一三八・二〇】ニュース

【一三八・三〇】ラヂオ體操

【一三八・四〇】ニュース

【一三八・五〇】ラヂオ體操

【一三九・〇〇】ニュース

八通關か能高越か
横斷の先陣爭ひ
玉里地方は原案を堅持
埔里は能高支持
近く花蓮港と提携

【玉里電話】鹽水港製糖會社に於ける八通關越え自動車道の八月一日からの開發發表は各方面に期せられたものの如く又二花横斷道路が開通するあかつきには八通關越えと成功するか能高越えと成功するかは玉里、埔里兩地方民は勿論全島の關心事となり八通關越え道路は玉里地方民は勿論全島の關心事となり八通關越え道路は玉里地方民は勿論全島の關心事となり八通關越え道路は玉里

蝦蟇仙人

西川滿

仙人の中で、一番ポピュラーなのは、鉄拐先生と、東方朔である。鉄拐先生は瓢箪を持つてゐるし、東方朔は桃を持つてゐる。それで瓢箪さんなどは、瓢箪を持つた仙人さへみれば鉄拐先生、桃を持つた仙人さへみれば東方朔と苦笑顔にかたづけてゐる。

先づたいしてあやまらはないが、鉄拐先生が瓢箪を持つてゐるから云つて、瓢箪を持つ仙人必ずも鉄拐先生ではない。我々は学生時代、数学の老先生からよく教はつたものである、「逆は必ずしも真ならず」

○

それなのに、今もつて桃のある絵さへみれば、ホウ東方朔ですな」と云ふ御人もある。ある時、毛色の変つた桃の絵を見て「これは東方朔の子供だね」と云つた某骨董収集家がある。東方朔倶もここまで入れば、先づ相当なもの心臓の強さの程もしれて、にがにがしい上の面目がある。その音痴骨董収集家、六十八歳の折の頭脳」と云つたナンセンスに一驚する。

○

さて、ついこの間蝦蟇のある仙人の絵の前で、相当の年配の御仁が、瓢箪まで生やして「蝦蟇仙人云ふたら老人の絵だが、この絵は若いな」

すると、眼鏡をかけた画学生風の若い方が

「さうですさいますね」

と、あたりさはりのない返事をする。

「どうも、もとおかしい」

「いかにも、さう云へば」

「それに、何だか女みたいだ、多分ニセものだらう」

と、結局その絵をニセ筆ひにして、瓢箪で生やした年配の御仁はグルグルと室内を巡視して、それからおもむろに、若者を顧みて徒らに嘆息と帰つていつた。

○

この絵の「ニセもの」云々は東方朔の子供「取桃後と五十歩百歩の間であつて蝦蟇仙人と云へば後に先にも老仙人と思ひこんでゐる、可憐な仙人である。蝦蟇仙人は男にもゐるし、女にもゐると云へば早合点の学生は、つまり夫婦なんでせうと、したり顔に云ふかもしれないが、いや夫婦やない。

○

某の時代に徐先生と云ふのがゐた。酒も煙もないノンベラボウで、身体には一面に皺がある。西が大好きで、始終部つぱらつては道ばたや橋の下に眠てゐた。

ある時馬元といふ男が何気なく見てゐると、徐先生が池の中に入つて水浴をはじめた。おや、と思ふ間に、先生の姿はみえない。不思議に思つて探すと、大きな一匹の蝦蟇が、らんらんと眼を輝かして、にらみつけてゐる。馬元は仰天して一目散に逃げた。すると間もなく、徐先生が衣を着てやつて来て、一緒に酒宴に入り、一粒の豆生薬を彼に與へ、また何処かへ去つて行つた。

これが男の蝦蟇仙人で、普通よく蝦蟇にみかける。

○

ところが、唐の時代に、勝州の人で張眞人云ふ人があつた。すでに家長の同意を求め、師る後蝦蟇の事に就いて聴する。男の家が金持だと牛や豚を数十頭も女の方では黙殺する、牛は農牛だ、豚は食用だと言ふ理由で、甘酸つぱい果汁を醸酵の中で、甘酸つぱい果汁を醸酵こさせてゐるのだらうかと考へるのだ。

実の熟した林檎や紅い柿の見える秋の街道が火薬の如く燃えてゐると、戸外で喚ぶものがあるので出てみると三人の仙人がゐた。そこで一緒に海にゆき、大蝦蟇に跨がつて海を渡り、名山に遊んだ。

その時仙人が「お前は凡を捨てて聖に入りたいか、それとも形を留めて世に住みたいか、どうちやいつでも嫁を娶つて仙に成るか」と問うた。張眞人は「また世が生きて居りますから、妻ひたいと思ひます」と答へた。そこで「それならしばらく形をとどめ世に住むがよい」と云つて、先づ妻を娶はせた。

○

花嫁が嫁ぎ洗ひを華ると、銀で造つた幅十寸縦八寸の鏡をかけ、鏡には鏡をかけ古鏡を掛け鏡には鏡をかけ古鏡を掛け鏡には鏡をかけ古鏡を掛け

（第三種郵便物認可）　昭和十四年八月四日（金曜日）　臺灣日日新報　第一万四十一百四十七號

靖國社頭で亡き父に對面する勇士の遺兒

五日夕刻までに勢揃ひ

【東京三日發同盟】戰歿の英靈が集合する事になつてゐるが一日現役兵二萬の歸還部隊に今なほ父の上に思ひを馳せる遺兒數千名が加はる事となつた、之等遺兒は五日夕刻までに靖國神社に參集する事に決定したが、參集人員は一萬七千一名を算し二萬の六十三名、大阪五千名、九州地方四千名、名古屋、若松、廣島、仙臺、札幌各一名、朝鮮、臺灣より各一名の旅費に分宿する事になつてゐる

臺灣神社外苑工事に勤行報國隊員が奉仕

きのふ火蓋を切る

臺灣でも小公學校で武道を正科に準じ授く

九月の新學期から五年以上に

臺灣青年團へ作興旗を授與

九月京城で大會開催

日獨青少年交驩

獨逸から來月廿日頃に來朝　毎年双方から派遣

第二乙以上の青年をゆうべ市内指導

臺北市公會堂で執行

南部地方は

ひどい煙草飢饉

專賣局で手配に大童

畏き御下問を賜ふ

二三田帝大總長の謹話

線路や枕木も繼合せ晴れて二度の勤め

國鐵が資源愛護のため

敗將華旅長の遁げ廻つた足跡

汕頭歸着の護衛兵談

慰問品展を開く

廿一日から臺北市公會堂で

基隆市で選擧有權者が三分の一も大減少

戶稅課稅率輕減から

○○部隊の一部けふ應召解除となる

漁業者は態度强硬

きのふ重油値下げで對抗策を決定

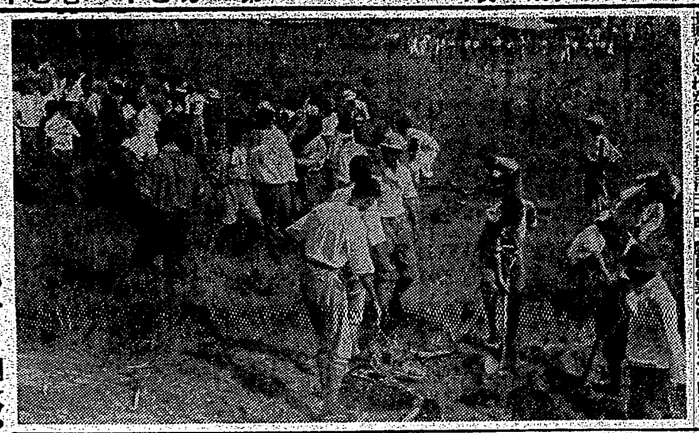
臺灣華僑その他が獻金

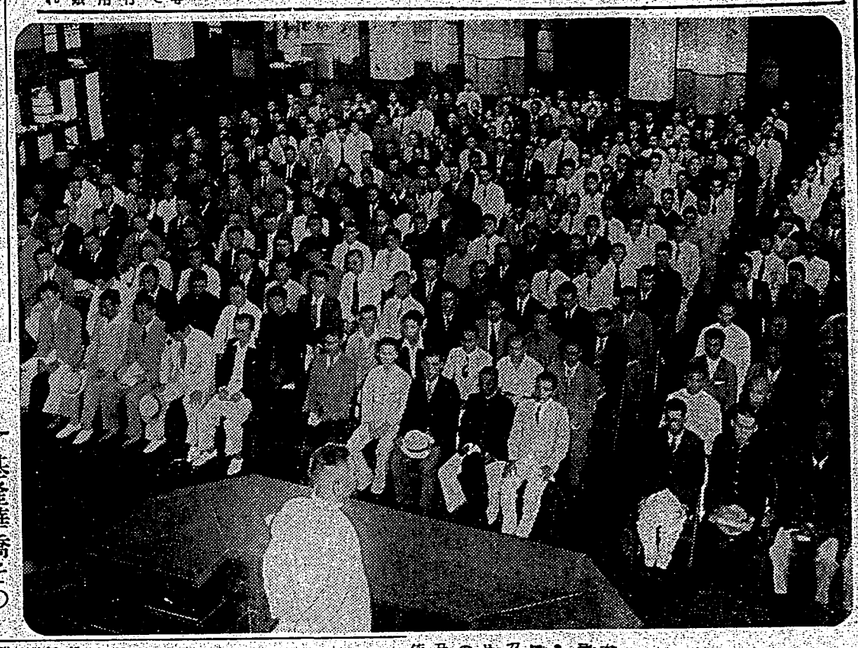
大和丸入港

三田臺大總長談

につぽん號の命名式擧行

日東紅茶





けふ堂々決勝へ

全國中等剣道に出場の北一中

『海の子日本』の競泳

海の子日本の榮冠を競ふ第十七回關西學生競泳大會は二十日午前第一回關西學生記錄水上競技場に於て開かれたが【寫眞は(上)參加の佐世保チームをスタートして泳ぎ行く】【寫眞は(下)初日をスタート】

まる七月十七日の勝を期して「鐵拳」へ出場、「信義の心」を發揮に鍛錬に厭いた台北一中劍道部主將は、既報關門における當日主將の鍛道大會に出場を擔ぎ出しに二十五日は武德會臺北演武大會、二十八日は大阪學生劍道主催の劍道大會

全國中等野球豫選總評(二)

中等野球豫選總評

全國中等野球豫選參加、戰闘呼聲の高かった豫選の幕は切られたが、酒合は愉快な試合、第一日目差して乘ぬる白熱戰を演じ、二日目へ後から中ノ島公會堂に於て行はれる決勝試合へ「鐵拳」を進める事となつた

残念だが賞め難い

強いて採れば嘉中と嘉農

守備に就て…小橋三省氏談

守備に就いて…と言つて……別にこれと言つて殺した事もないが一口に言へば總じて下手だつた、と云ふ事になれば、或る程度迄試合のトータルが下手な失策が多く出たのはグランドが可成り惡かつた故もあらう、然しそんな技術的な技巧の問題は別に入れないで考へても殘念ながら全體を通じて賞め難い點ばかりだ、ピツチヤーは出來ると思ふ。例へば細かい問題だがランニングヒットが出た場合

守備側の野手で拾ひ捕むのを注意して見てゐる者がない、球を追つて漫然山なりに投かおほかぶせて下さいまして有難ふ御座いました、今回は最初の豫定よりも大幅時間が御遅延しまして誠に申訳がありませんが先程お話の中に述べた通り各地の代表者

夏山を語る(13)

合宿練習を開始

日滿華競技陸上代表

日滿華三國交驩競技會に參加の日本陸上競技代表選手はさる二十一日から甲子園スポーツマン・ホテルに籠城し一日から合宿練習に入つたが

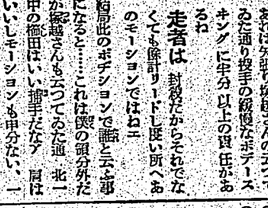
一疊へ

一日は午後四時半から最初の練習を行つた、練習は織田幹雄、保坂繼榮、原技師顧技術員ら指導の下に約一時間半にわたつて行はれたが、午後の練習は午前の練習に引續いて行はれたが、午後の練習は午前の練習に引續いて行はれたが、午後の練習は午前の練習に引續いて行はれたが

極力盤りを忌避し

行切を防ぐ黒八五の效果

評解 七段 木谷實



【第一局の九】

○八八と九 ●八九り八
○九〇ち十 ●九一り九
○九一ち七二 ●九三ち二一
○九五と一一

○九六り一一
●四三た一二ツグ
持時間各九時間(一分以内切捨)
消費時間【白】二時二〇分
【黒】四時一四分

あれは矢張り塩越さんの云つてゐた通り投手の殊勝なボデースキングに半分、以上の責任があるね

走者は

封殺だからそれでなくても餘計リードし度い所へあのモーションではねエ

結局他のポヂションで餘と云ふ事になる……これは僕の個分だが塩越さんも云つてゐた通り北一中の場合はいい捕手だなア肩はいいしモーションも申分ない、一塁への牽制なども上手なものだ來年は是非上廻る上手な捕手を聞くかも知れぬが、初學者の碁、若し一年捕手として働きをかけ度いなと思ふ、これは僕一人の考へだけれども、さて

一疊へ

は下手の北側を狙り度いね、塁中の立場がいが北側が低目に來る確率を多く捕つて味方の危機を救つてゐた佐々レは

遊撃で

は大切な時に左狙かれと云つて言ふ事は出來ない、一人先つてゐた、十二分に間に合ふ場合でも肩のいい所を見せ度さにピツと投げて大きな事をやり勝ちなノートだがいつも大切に間に合はせてゐた塩澤なプレイは流石玄人と思はれた

遊撃で

は大切な時に左狙かあつたが左狙り打擊もいいし二塁の跳花を誰も所だらね、塩中松井の球捌き、遊撃圍部の俊身的な動きも捨て難いが……外野は打擊で探らねば仕方もなく、それに今度の大會では此の一點で引くり返るも知れぬが、初學者の碁、若し一年捕手として働きをかけ度いなと思ふ、これは僕一人の考へだけれども、さて

走者は

封殺だからそれでなくても餘計リードし度い所へあのモーションではねエ

結局他のポヂションで餘と云ふ事になる……これは僕の個分だが塩越さんも云つてゐた通り北一中の場合はいい捕手だなア肩はいいしモーションも申分ない、一塁への牽制なども上手なものだ來年は是非上廻る上手な捕手を聞くかも知れぬが、初學者の碁、若し一年捕手として働きをかけ度いなと思ふ、これは僕一人の考へだけれども、さて

走者等

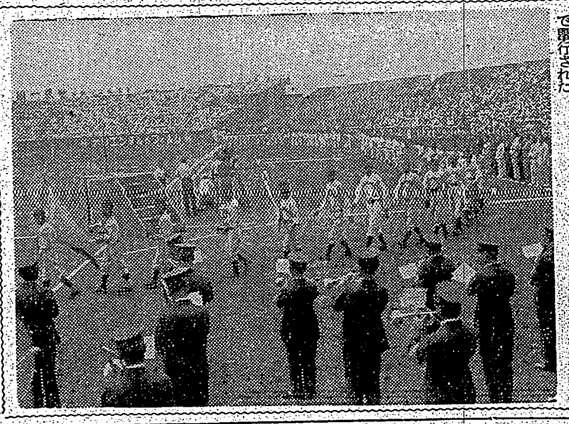
を考へに入れてその一球、一球で動いてゐた樣に見えたしそれから盤がベンチから出

守備側

の野手で拾ひ捕むのを注意して見てゐる者がない、球を追つて漫然山なりに投かおほかぶせて下さいまして有難ふ御座いました、今回は最初の豫定よりも大幅時間が御遅延しまして誠に申訳がありませんが先程お話の中に述べた通り各地の代表者

都市對抗野球入場式

第十二回都市對抗野球大會の開幕を飾る晴れの入場式は去刑日午前十一時半から後樂園スタヂアムで擧行された



學生代表決る

對全滿軟式庭球

全滿洲國庭球聯盟主催の第二回全滿洲國學生庭球對抗競技會は二十六日午後一時から瀋陽各面庭球コートで行はれる全滿洲國軍事顧問部主催の